

大阪城公園パークマネジメント事業 令和3年度 事業報告書

大阪城パークマネジメント共同事業体

(代表者)

大阪府中央区大阪城 1 番 1 号

大阪城パークマネジメント株式会社

代表取締役 木下 健治

【担当者】



目 次

1. 令和3年度の事業報告についての概要	P 2
2. 成果指標にかかる数値結果等	P 4
3. 令和3年度 収支実績報告書	P 6
4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書	P10
5. 駐車場にかかる事業報告書	P22
6. 大阪城音楽堂にかかる事業報告書	P23
7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書	P25
8. 大阪城野球場にかかる事業報告書	P28
9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書	P29
10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書	P31
11. 森之宮噴水エリアにかかる事業報告書	P35
12. COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書	P36
13. 園内交通システムにかかる事業報告書	P37
14. 施設・公園管理にかかる事業報告書	P38
15. 植栽管理にかかる事業報告書	P41
16. 観光拠点化推進にかかる事業報告書	P48

1. 令和3年度の事業報告についての概要

令和3年度は前年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、天守閣の休館や西ノ丸庭園の休園や桜の時期には公園利用者へシートを敷いての花見の制限、緊急事態宣言などの感染拡大状況に応じたイベントの自粛などを行いながら、コロナ禍における市民の憩いの場としての公園運営を行ってまいりました。

平成30年度に当初予定していた魅力向上事業における施設整備がすべて完了し、令和元年度からはこれらの施設を生かした誘致活動などのPR施策やイベントの実施、来園者への案内機能の強化と歴史的魅力の発信に取り組みました。そして維持管理においては省エネへの取り組みや既存ストックを活用した魅力発信、懸案箇所の計画的な修繕や美装化に取り組みました。令和3年度こそは、1年遅れでそれらの取り組みをさらに加速させる年度のはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大により姿を消した海外からの観光客は水際対策で戻らず、国内観光客も回復には程遠い1年となりました。

公園内の各施設も新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組み、大阪市からの指示で大阪城天守閣は4月26日から臨時休館、西の丸庭園も同じく臨時休園し、利用を見込めない多くの飲食店等テナントも休業や時間短縮での営業を強いられました。令和3年度はこのような有料施設の営業ができない非常事態の中、ひっそりと始まりました。

感染拡大が勢いを弱め、緊急事態宣言も解除となった後、6月20日に大阪城天守閣が再開しましたが、入場者数は3桁で推移し、その後も週末は4桁に届く日があるものの、入場者数の約4割を占めていた国内の来館者においても以前の数まで戻っていません。年間の入場者数は約34万人で、これは一昨年度の1か月平均を少し上回る程度の入場者数です。園内の飲食店や園内交通システム、御座船についても、11月と3月は回復しましたが、他の月は低迷しました。

一昨年度のリニューアル以後、ホームページ内で園内のお花MAPを公開し、外の空気を吸いたくなった市民の方への目的提供を試みました。年度通じて観光客の姿は少ない中、園内の樹木、草花の前で写真を撮る方が多数見られ、1月後半から3月初めまでには、梅林に多数の市民の方が来園されたことで、市民に支持される取り組みであったと意を強くしました。

園内のイベントについては、西の丸庭園の「観桜ナイト」、3月下旬からGWまで季節限定のバーベキュー「和ーベキュー」、GW太陽の広場「餃子フェス」等の自主事業は中止。大阪市から申し込みを頂く園内イベントも軒並み中止、延期となりました。一方で、大阪市経済戦略局から副申を頂いた木下大サーカスは、当初の予定から1日遅れの6月21日から9月5日まで開催され、夏休みの来園者増に大きく寄与しました。その後、秋のイベントも、YATAIフェス、大阪城だんじり、大阪城トリアスロン等の大型イベントは全て中止となりました。天守閣主催の年4回の本丸広場でのイベントも、夏の豊国踊りと秋のイベントは開催しましたが、GWと年始は休止しました。

維持管理においては、西の丸庭園の入場券がオンライン購入できるようになり、現金購入しかできなかった従来と比較して利用者の利便性が向上しました。

課題も浮かび上がってきました。世界に誇る大阪城天守閣ですが、遠方への外出をためらう期間が多い中、令和3年度の来館者アンケート結果からはじめて来館される方の割合が依然として約6割おられ、大阪府民や市民に繰り返し来て頂ける施設になっていないことがわかりました。

大阪城天守閣は、市民の生涯にわたる学習活動を支援することにより、市民の文化と教養の向上、学術の発展及び観光に寄与することを設置目的の一つとしています。大阪市民の来館を促進する為に天守閣の実施するイベントや展示とその他各施設の連携等をさらに強化し一体感のある魅力発信を行っていく取り組みに一層注力してまいります。

桜梅桃李などの花木を活用した公園としての季節に応じた魅力発信については、本年度に拡充が出来ました。今後は大阪城公園全体、周辺地域、施設との連携をさらに図ってまいります。

引き続き大阪城公園の観光地としての魅力と市民の憩いの場としての魅力を高めるとともに来園者の周遊性向上に向けた取り組みを継続していききたいと思います。

2. 成果指標にかかる数値結果等

(1) 大阪城天守閣の入場者数

年間入場者数 342,863 人 (計画数値: 51 万人)

(2) 大阪城公園本丸エリアへの来園者数(推計)

年間来園者数 77 万人(推計) (計画数値: 117 万人)

(天守閣の入場者数×2.24 倍、平成 27 年度～30 年度実施の動向調査による平均推計値)

(3) 大阪城公園への来園者数(推計)

年間来場者数 163 万人 (計画数値: 244 万人)

(天守閣の入場者数×4.76 倍、同上)

(4) 大阪城野球場、大阪城西の丸庭園、豊松庵、大阪城音楽堂の利用者(件)数

大阪城野球場: 年間利用件数 641 件 (計画数値: 700 件)

大阪城西の丸庭園: 年間有料入園者数 49,890 名 (計画数値: 40,000 人)

豊松庵: 年間利用件数 120 件 (計画数値: 60 件) 稼働率 33.6%

大阪城音楽堂: 年間利用件数 101 件 (計画数値: 100 件) 稼働率 33.0%

(5) 大阪城天守閣入館者への満足度調査結果

※令和 3 年 10 月 29 日(金)～31 日 (日)実施の動向調査による。(非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足の 5 段階評価)

天守閣 満足度(非常に満足、まあまあ満足) 90.6% (計画数値: 85%)

設問:「本日、大阪城天守閣に来館されての満足度を教えてください。」

回答者数: 963 名

公園全体満足度(同上) 未実施 ※ (計画数値: 85%)

※未実施となった経緯について

公園満足度調査は、例年 10 月に天守閣の動向調査と同時に本丸で実施しており、準備を 4～5 月頃から始め、決定(調査会社との契約)は 8 月上旬までを期限に検討しておりましたが、この時期のコロナ禍悪化に対する行政発令は以下の通りでした。

4 月 5 日～4 月 24 日 まん延防止等特別措置、4 月 25 日～6 月 20 日 緊急事態宣言、6 月 21 日～8 月 1 日 まん延防止等特別措置、8 月 2 日～9 月 30 日 緊急事態宣言。この情勢下、本丸エリアへの来園者数は園内の他のエリアよりも目に見えて比率も総数も減少していたため、本丸での調査の有効性や費用対効果にも疑問が生じていました。また、調査方法は従来通り調査員がアンケート用紙を来園者へ手渡しし、声掛けと聞き取りを交えて行う想定でしたが、この接し方は各種感染防止対策との相反が生じかねず、調査を拒まれることや調査実施の非難を浴びることも容易に想像されたため、8 月 10 日

時点において「10月に本丸で実施する案」は一旦見送り、「コロナ禍が沈静化した時期を見計らって、公園来園者数のカウント調査とあわせて公園入口付近等で実施する案」への変更を決定しました。

しかしながら、その後コロナ禍（感染まん延状況）は10月から11月は若干沈静化していたものの、12月後半からはオミクロン株のまん延による感染者が増加し始め、翌年1月27日には緊急事態宣言が再発し3月21日まで継続したため、当年度の満足度調査は実施を見送らざるを得ない状況のままで終了いたしました。

●令和4年度の公園満足度調査の実施計画について

令和4年度も来園者に占める本丸の比率や総数は低い傾向が続く可能性も高く、公園満足度調査を、従来通り本丸で実施するか、公園来園者カウントの時期に合わせて公園入口等で行うかについては、8月上旬に結論を出す予定としております。実施方法については、過去の傾向との比較有効性も考え、今までと同様に対人的にアンケート用紙を配布し回収する方法を予定しています。

ただし、コロナ禍の状況次第で、令和3年度同様に実施が難しい状況になる可能性がありますので、インターネットを活用した調査方法も選択肢の一つとして検討し、何らかの方法での調査は実施する所存でございます。

（6）大阪市への納付金額

基本納付金	34,000,000 円（計画	260,000,000 円）
変動納付金	0 円（計画	8,622,000 円）

個別 事業名	<建設局> J0-TERRACE OSAKA
-----------	---------------------------

項目	令和3年度
I期(AーFテラス)店舗運営委託事業	139,478,514
直営オフィシャルショップ事業	11,589,840
II期(Gテラス・キャスルガーデン)運営委託事業	73,379,028
(1)売上高	224,447,382
直営オフィシャルショップ事業	767,069
(2)売上原価	767,069
(3)売上原価益〔(1)－(2)〕	223,680,313
販売促進費(広告宣伝・催事)	893,179
人件費	29,853,429
管理委託費等	66,967,301
水道光熱費	0
備品・消耗品・事務用品費	1,050,107
賃借料(備品レンタル等)	1,103,738
通信費	807,678
修繕費	967,000
保守維持費	67,800
その他	1,787,599
<上記の小計>	103,497,831
改修費	0
減価償却費I期	4,835,297
減価償却費II期(キャスルガーデン)	31,456,107
[事業直属費計]	139,789,235
共通費	27,656,172
(4)販売費及び一般管理費	167,445,407
(5)営業損益〔(3)－(4)〕	56,234,906
雑収入	422,756
受取違約金	3,984,134
雇用調整助成金	1,673,648
共通 助成金収入 (中小企業庁/月次支援金・事業復活支援金)	678,092
共通 雑収入等	2,371
①営業外収益 小計	6,761,001
支払利息相当額(リース契約)・雑損失	90,304
雑損失	442,058
解約引込金・残置物撤去処分費	
共通費用	2,753
②営業外費用 小計	535,115
(6)営業外損益 総計〔①－②〕	6,225,886
(7)当年度損益〔(5)＋(6)〕	62,460,792

個別 事業名	<建設局> MIRAIZA OSAKA-JO
-----------	---------------------------

項目	令和3年度
店舗運営委託事業	177,302,856
自販機売上手数料	1,181,823
(1)売上高	178,484,679
(2)売上原価	0
(3)売上原価益 (① - ②)	178,484,679
販売促進費 (広告宣伝・催事)	903,248
人件費	11,285,567
管理委託費等	50,492,391
水道光熱費	3,750,595
備品・消耗品・事務用品費	547,120
修繕費	126,300
保守維持費	170,400
通信費	996,448
賃借料 (小額備品リース・レンタル料)	1,794,950
その他	721,803
＜上記の小計＞	70,788,822
改修費	0
減価償却費	44,148,469
[事業直属費計]	114,937,291
共通費	22,232,457
(4)販売費及び一般管理費	137,169,748
(5)営業損益 (③ - ④)	41,314,931
共通 助成金収入 (中小企業庁/月次支援金・事業復活支援金)	545,110
共通 雑収入等	1,906
① 営業外収益 小計	547,016
支払補償金	
固定資産除売却損	
共通費用	2,213
② 営業外費用 小計	2,213
(6)営業外損益 総計 (① - ②)	544,803
(7)当年度損益 (⑤ + ⑥)	41,859,734

個別 事業名	<建設局> 森ノ宮噴水エリア(噴水前3店舗)
-----------	---------------------------

項目	令和3年度
噴水前3店舗運営委託事業	32,952,000
(1)売上高	32,952,000
(2)売上原価	0
(3)売上原価益 (1) - (2)	32,952,000
販売促進費 (広告宣伝・催事)	
管理委託費等	788,500
修繕費	0
その他	0
＜上記の小計＞	788,500
改修費	0
減価償却費	990,495
(事業直属費計)	1,778,995
共通費	2,631,553
(4)販売費及び一般管理費	4,410,548
(5)営業損益 (3) - (4)	28,541,452
共通 助成金収入 (中小企業庁/月次支援金・事業復活支援金)	64,522
共通 雑収入等	226
① 営業外収益 小計	64,748
共通費用	262
② 営業外費用 小計	262
(6)営業外損益 総計 ① - ②	64,486
(7)当年度損益 (5) + (6)	28,605,938

個別 事業名	<建設局> 屋内音楽堂(クールジャパンパーク)
-----------	----------------------------

[illegible]

個別事業名	<経済戦略局> 大阪城天守閣
-------	-------------------

	項目	令和３年度
	天守閣 観覧料等	134,979,031
	天守閣 荷物預り料	510,365
	天守閣 収蔵品写真使用料	4,228,340
	天守閣 図録等頒布収入	3,307,495
	天守閣 兜・陣羽織試着体験料	0
	天守閣 ミュージアムショップ	24,221,526
	天守閣 運営協賛金(広告料)	0
(1)売上高		167,246,761
	図録等頒布収入 棚卸販売原価	97,641
	ミュージアムショップ 棚卸販売原価	1,769,528
(2)売上原価		1,867,165
(3)売上原価益 ((1) - (2))		165,379,592
	広告宣伝費	6,384,970
	人件費	71,543,268
	諸手数料 (振込手数料,クレジット手数料等)	3,481,915
	管理委託費等	174,120,884
	水道光熱費	27,629,730
	通信費	2,063,333
	備品・消耗品・事務用品費	10,849,115
	賃借料(小額リース・レンタル)	2,457,891
	公園占用使用料(大阪市)	90,410
	修繕費	1,313,300
	保守維持費	1,152,477
	その他	2,100,798
	<上記の小計>	303,188,095
	改修費	18,087,500
	減価償却費	6,054,649
	[事業直属費計]	327,330,244
	共通費	37,615,362
(4)販売費及び一般管理費		364,945,606
(5)営業損益 ((3) - (4))		-199,566,014
	雑収入及び受取保険金	165,261
	雇用調整助成金・文化庁補助金(コロナ対策：空調、備)	19,616,510
	大阪市指示休館の補填(4/25～6/20)	85,293,915
	共通 助成金収入 (中小企業庁/月次支援金・事業復活支援金)	922,278
	共通 雑収入等	3,225
①営業外収益 小計		106,001,193
	支払利息相当額(リース契約)	93,471
	雑損失	9,943
	共通費用	3,744
②営業外費用 小計		107,158
(6)営業外損益 総計 (① - ②)		105,894,035
(7)当年度損益 ((5) + (6))		-93,671,979

個別 事業名	<教育委員会事務局> 大阪城音楽堂
-----------	----------------------

項目		令和3年度
	音楽堂 利用料	30,347,378
	付帯設備使用料	9,216,609
	ミーティングルーム使用料	23,563
	自動販売機 運営委託事業	604,553
(1)売上高		40,192,103
(2)売上原価		0
(3)売上原価益 ((1) - (2))		40,192,103
	人件費	18,168,084
	管理委託費等	20,180,900
	水道光熱費	4,488,741
	通信費	121,108
	備品費	355,041
	消耗品費・事務用品費	537,613
	賃借料(小額リース・レンタル)	259,300
	修繕費	694,000
	保守維持費	126,000
	その他	1,451,858
	<上記の小計>	46,382,645
	改修費	6,125,500
	減価償却費	1,147,830
	[事業直属費計]	53,655,975
	共通費	7,110,829
(4)販売費及び一般管理費		60,766,804
(5)営業損益 ((3) - (4))		-20,574,701
	受取保険金	
	雇用調整助成金	504,980
	共通 助産金収入 [中小企業庁/月次支援金・事業復活支援金]	174,348
	共通 雑収入等	610
①営業外収益 小計		679,938
	共通費用	708
②営業外費用 小計		708
(6)営業外損益 総計 (①-②)		679,230
(7)当年度損益 ((5) + (6))		-19,895,471

4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書

昭和6年（1931年）11月7日に大阪市民の寄付によって復興された大阪城天守閣は、大阪はもとより日本の文化、観光のシンボルという特徴を備えた博物館施設として歩みを続け、今日にいたっています。

令和3年度(2021年度)は、11月7日で復興90周年を迎えたことを機に、これまでの大阪城天守閣の歩みを振り返るとともに、市民と復興90周年を祝い、来る100周年に向けての第一歩とすることを目的としたキャンペーン期間を長期に設定し、主催事業のみならず、大阪城周辺の施設や事業者、市民団体、天守閣復興に携わった企業などに協力を仰ぎ、多角的なキャンペーンを展開しました。また、復興90周年を記念するテーマ展「豊臣時代」（会期：令和3年10月9日（土）～12月19日（日））では、当館が収集してきた多様な文化財のなかでも、わが国を代表する一大コレクションである秀吉とその時代にかかわる資料を大々的に展示しました。

「大阪・尼崎・岸和田 参城同盟 参城キャンペーン」を、大阪城と尼崎城、岸和田城の三つの城が連携・協力して展開し、新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の感染拡大による未曾有の社会環境（以下「コロナ禍」といいます。）で、近隣府県外への旅行などの自粛が求められる中、三城の歴史的関係や、各城周辺のゆかりの地にも足をのぼして、まちの歴史や魅力を楽しんでいただき、近隣三城での相互集客を創出するように努めました。

一方で、令和2年2月頃からのコロナ禍は、令和3年度においても引き続き緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、観光需要は低迷し、特にコロナ禍以前は推定約6割を占めていた訪日外国人の大阪城天守閣来館者はほぼ全減（※）という厳しい事業環境となりました。

※2021年1～12月の訪日外国人数は245,900人で、2020年同期4,115,828人から94%減、2019年同期31,882,049人に対し99.2%減（日本政府観光局推計値）

「第3回緊急事態宣言（令和3年4月25日～令和3年6月20日）」発令により令和3年4月25日～令和3年6月20日の57日間は大阪市指示により臨時休館いたしました。なお、令和2年2月29日～令和2年5月19日にも同様な臨時休館を81日間（令和元年度32日間と令和2年度49日間）実施しており、コロナ禍による臨時休館累計は138日となりました。

以上の結果、本年度の大阪城天守閣入館者数は342,863人となり、前年度（令和2年度241,230人）比では101,633人増（42.1%増）となりましたが、令和元年度（2,550,058人）比では1,838,987人減（84.3%減）となりました。

個々の事業実施状況については、以下の通りとなります。

1. 資料の収集、保管事業

本年度は「豊臣秀吉画像」、「石山合戦絵伝屏風」、「大谷吉継書状（黒川宛）」など7件の購入（大阪市）、「豊臣秀次自筆書状（こや宛）」、「金箔押桐文軒丸瓦」など5件の寄付により資料を収集しました。高い資料的価値と展示効果を有するこれらの資料を収集・管理する学芸員の業務に協力しました。

2. 展示事業

(1) 企画展示

2ヶ月を目途に文化財展示を全面的に更新し、そのつど3階・4階のフロアごと、新しいテーマの展示を立案しました。

本年度は、「信長・秀吉・家康が見た大坂」、「ここに本願寺があった頃」、「サムライたちの美学」、「『民の力』と大阪城」、の計4本の企画展示と夏の展示「慶長クロニクル〈1596－1615〉～波乱の20年～」を実施し、夏の展示では、伏見慶長大地震にはじまり慶長の役、秀吉の死去、関ヶ原合戦、さらには大坂の陣と、大きな事件がつぎつぎと起こった慶長期の歴史と文化を多彩な史料により紹介しました。

(2) テーマ展

①「幕末大坂の風景－にぎわいと安らぎ－」（令和3年3月19日～5月30日）

概説：『江戸時代後半から幕末にかけ、大坂では出版文化の発達を背景に、さまざまな印刷媒体による風景画が数多く生み出された。一部の教養人のものだった風景画は誰でも親しめる身近な存在となり、挿絵画家や浮世絵師たちは大衆の心をつかむべく絵筆をふるった。本展では絵入りの名所案内、連作錦絵、一枚刷りの名所図や広告宣伝用の引札（チラシ）などに描かれた数々の風景画をとりあげ、人々が愛し、人々の暮らしを豊かに彩った、いにしえの大坂の姿を紹介。』

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和3年4月25日～6月20日が臨時休館となったため、会期を7月28日まで延長しました。

期間中(75日間)の入館者は、66,891人（1日平均約892人）でした。

②「豊臣時代」（令和3年10月9日～12月19日）

概説：『大阪城天守閣は、昭和天皇の即位記念として、豊臣秀吉が築いた大坂城天守の再現を目指し、当時の技術の粋を集めて復興され、秀吉顕彰の象徴的建造物となった。秀吉という人物の評価、その治世に対する捉え方は時代とともにさまざまな変遷を遂げてきたが、秀吉と同じ時代を生きた人々にとって、豊臣家が存続した約30年間とはどのような時代だったのか。本展では、秀吉による大坂築城から豊臣家滅亡にいたる期間をとりあげ、豊臣時代の諸相を探究。』

期間中(72日間)の入館者は127,998人（1日平均1,778人）でした。

③「武将たちの風貌」（令和4年3月19日～5月8日）

概説：『写真がなかった戦国時代の武将でも、残された絵画史料をよすがとして、私たちはその面立ちやすがたを思い浮かべることができる。そのような画像は、私たちが歴史を生き生きとイメージするうえで、大きな助けとなる。本展では大阪城天守閣が収蔵する肖像画や屏風絵、絵巻物などによって、有名無名の戦国武将たち125名の風貌を略伝とともに紹介。』

令和3年度中(13日間)の入館者は、40,077人（1日平均約3,083人）でした。

(3) 常設展示

1階シアタールームのマスター再生機1台および、サブ再生機6台（室内・室外各3台）の更新工事を実施しました。

3. 調査・研究事業

展示・普及事業の基礎として学芸員が実施する調査研究活動について側面的な協力を行いました。

4. 教育・普及事業

- ① 収蔵品や関連資料の写真を作成管理し、公共機関や研究者、出版・放送関係機関等からの掲載や複製作成、商品化の要望に応じ積極的に提供することで、資料の普及に努めました。写真資料の提供数は 486 件 1,548 点におよびました。
また、天守閣所蔵の主要写真 100 点のデジタルデータ化を実施しました。(PMO による累計実績データ数は 2,759 点となりました。)
- ② 他の博物館施設等からの文化財貸出依頼に対する出品や、展覧会の企画や展示指導等に関する特別協力依頼に応じました。
- ③ 3 階図録頒布コーナーについては、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に続き業務委託よりミュージアムショップ・事務所職員の配置変更に切り替え、消毒液を設置して頒布業を運営し、また、通販および「大阪城オンラインショップ」による頒布を継続しました。
- ④ 館内の兜・陣羽織・小袖のレプリカ試着体験コーナーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年度に続き全期間休止しました。
- ⑤ 「重要文化財 大阪城の櫓 YAGURA 特別公開」との連携
コロナ禍の影響により公開が中止されたり、期間短縮となったりすることがあったものの、令和 3 年度は約 5 千人が観覧、うち天守閣セット券による観覧は 3.8 千人となりました。
(公開期間：令和 3 年 4 月 29 日～6 月 27 日、令和 3 年 7 月 3 日～11 月 28 日の土曜日・日曜日・祝日の計 54 日間の限定公開)

5. 学校や市民・各種団体等との連携に関する事業

(1) 学校や各種団体等との連携事業

① 「第 50 回大阪城絵画展」(令和 4 年 1 月 2 日～1 月 31 日)

大阪の将来を担う幼稚園児・小学生・中学生が大阪城を大阪の誇りに思い、憩いの場としてより一層親しむと同時に、大阪の歴史・文化についての理解を深めることができるよう、大阪市内の幼稚園、小・中学校と連携し、大阪城の絵画を募集して入選作品を展示しました。(応募作品数 673 点、うち入選作品数 30 点)また、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式については会場を従来のおおさか城天守閣会議室から大阪歴史博物館内の講堂に変更して開催しました。

② 地域・市民団体や企業、大阪城公園内および周辺イベント(木下大サーカス、歴史リアル謎解きゲーム「謎の城」 in 大阪城など)と連携し、企画協力や相互広報・相互入場割引などを実施しました。

③ 「太閤なにわの夢募金」への協力

自主事業イベント「大阪城天守閣復興 90 周年記念 大阪城の秋まつり 2021」(令和 3 年

11月6日～11月7日)においてPRブースを、「大阪城天守閣復興90周年記念事業 大阪城天守閣 北川央館長退任記念フォーラム フォーエバー大阪城～大阪城天守閣のこれまでとこれから～」(令和4年3月30日)において募金受付デスクを提供しました。また、前年度に続き実行委員会事務局運営に参加し、主に出納業務を行いました。

- ④中学生の職場体験については過去実績のある中学校からは中止の連絡があり、また、(大阪市立北稜)中学校からの新規依頼に対しては、体験学生の感染リスク回避の観点と、コロナ禍対策として職員の出勤抑制を行っていたため、受入れ体制が縮減中であったことを考慮し、やむなくお断りしました。

(2) 地域との連携

- ① 中央区民まつりへの協賛・広告を予定していたものの、コロナ禍の影響により、「なにわの宮」での開催が中止され、主催者側から広告協賛金が返金されました。
- ② 大阪義士会「大阪義士会子ども四十七士」は、コロナ禍の現状を鑑み、子ども時代行列等の事業を中止する旨主催者側から通知があり、表敬訪問受入は中止となりました。

(3) 他の博物館等との連携

- ① 博物館学実習として令和3年10月18日から22日の5日間にわたって、8校から9人の大学生を受け入れました。

② 姉妹城・友好城郭・友好協定連携事業

大阪城天守閣復興90周年を冠した「大阪城の秋まつり2021」において記念式典を実施し、滋賀県長浜市・和歌山市・長野県上田市の各副市長、名古屋市中村区長に登壇いただきました。

大阪・ミラノ姉妹都市提携40周年を記念し、大阪城とスフォルツェスコ城の城郭代表者がオンライン対談を行いました。両城の友好城郭提携に向けた布石として、大阪城天守閣館長が出演し、この様子が大阪市により令和4年3月28日から動画配信されています。

③ 全国城郭管理者協議会への参加、および加盟城との協力連携

令和3年度は、令和3年6月26日の総会と、令和4年2月25日の役員会が書面決議となり、令和3年12月7日の研修会は初のオンラインでの開催となりました。

また、同協議会発行の「城のしおり」が令和3年11月7日に完売(216冊)したため、同日より後継の「日本の名城」の販売を開始し、460冊を販売しました。

④ 日本博物館協会・関西博物館連盟への参加、および加盟館との協力連携

⑤ 大阪歴史博物館との連携〔天守閣・歴博セット入場券(4,270枚販売)〕

⑥ 他の博物館、大学、学校、学会その他国内外の関係機関との協力連携

博物館協会キャンパスメンバーズへの参画(7校 計893人入館)等

⑦ 尼崎城、岸和田城との連携事業(令和2年10月10日～)

令和2年度は協定書に基づき実施した「大阪・尼崎・岸和田 三城同盟 参城キャンペーン」ですが、令和3年度より実行委員会が発足し、名称は「大阪・尼崎・岸和田 参城めぐりキャンペーン」に改め、事務局運営で各城起案のとりまとめと出納を担いつつ、キャンペーン展開に取り組みました。令和3年度は、三城×各2個=6個のスタンプで一つの絵になる「重ね捺しスタンプラリー」(令和3年11月3日～)、「お城 EXPO2021」への共同出展(令和3年12月18日～12月19日)、3つの城の周辺地域の見どころを掲載し

た「まち歩きリーフレット」の配布（令和4年3月～）等を行いました。

(4) 大阪城天守閣復興 90 周年記念参加事業

① 当館学芸員が出講した参加事業

・京阪ホールディングス株式会社との連携事業

京阪ホールディングス主催の歴史講座・ウォーク企画「京阪沿線ぶらり歴史びと」（令和3年11月～12月）に学芸員が出講しました。

「徳川慶喜と若き日の渋沢栄一」（令和3年12月25日 於：関西医科大学枚方学舎加多乃講堂）同歴史講座は、大阪城天守閣復興 90 周年記念事業として行いました。

・三井アウトレットパーク大阪鶴見との連携事業

三井アウトレットパーク大阪鶴見主催の親子向け歴史「楽しく学ぼう！大阪城」（1回目：令和3年7月31日・8月1日／2回目：令和3年11月3日 於：三井アウトレットパーク大阪鶴見）に学芸員が出講しました。また、2回目は物販ブースも設けました。同イベントは、大阪城天守閣復興 90 周年記念事業として行いました。

② その他参加事業

・豊臣秀吉が演じた能「のふの事」（令和3年8月～12月）山本能楽堂

・大阪城天守閣復興 90 周年スペシャルコース〈食事〉（令和3年9月～11月）大阪迎賓館

・大阪城天守閣復興 90 種年×KKR ホテル大阪 30 周年 特別記念：大阪城天守閣チケット付2食付宿泊プラン（令和3年10月1日～11月6日）KKR ホテル大阪

・KKR ホテル大阪レストランシャトー特製 秋を味わう行楽弁当（令和3年10月1日～11月30日）KKR ホテル大阪

・KANSAI ウォーク 2021（令和3年10月1日～12月31日）KANSAI ウォーク大会事務局

・アクアライナー・大阪城天守閣セット（スペシャル版）（令和3年10月16日～令和4年2月28日）

・「大阪城天守閣復興 90 周年記念～市民とともに歩んだ 90 年 since1931～」オリジナル フレーム切手発売（令和3年10月18日～）日本郵便株式会社近畿支社

・KKR ホテル大阪 武将膳 太閤（令和3年11月1日～令和4年11月6日）KKR ホテル大阪

・もりのみや 90 モール（令和3年11月3日～11月7日）もりのみやキューズモール BASE

・リアル宝探し「赤絵から逃げ出した虎を探せ」（令和3年11月6日～令和4年2月28日）大阪市

・大阪城天守閣復興 90 周年記念特別企画 歴史人×歴史リアル謎解きゲーム「謎の城」 in 大阪城 戦国の世の最終章 関白豊臣秀吉編（令和3年11月12日～令和4年5月15日）（従来から PMO 主催で西の丸庭園～公園で実施。今回は天守閣にも謎解きを設置し集客）

・大阪の食を体験する観光プログラム あじわい大阪（1回目：令和3年11月20日～12月26日／2回目令和4年1月22日～2月27日）大阪市

・『大坂城―秀吉から現代まで 50 の秘話―』北川央／著（令和3年12月17日～）新潮社

・『大坂城と大坂・摂河泉地域の歴史』北川央／著（令和4年3月30日～）新風書房

6. 情報発信、広報宣伝

大阪を代表する文化・観光施設にふさわしいテーマ展及びイベント等を実施するとともに、ホームページ(訪問者数 67 万件/年・ページビュー数 201 万件/年)・ポスター・チラシ・リーフレット(日本語、韓国語、中国繁体字、中国簡体字、英語の各言語別及び子ども向け)・マスメディア等をととして情報発信・広報宣伝を行いました。

取材受入れは 61 件、大阪市を通じての報道発表は 12 件、観光雑誌等の刊行物への天守閣情報の掲載(写真提供および記事校正)は 99 件実施しました。

令和 2 年度からのコロナ禍の影響により、旅行喚起につながる積極的な広報を控える時流が続く、マスコミ取材等の広報件数は伸び悩みましたが、天守閣復興 90 周年関連事業および復興記念日に開催したイベントは、多くの媒体に取り上げられました。

コロナ禍における情報発信手段として前年度にスタートした、担当学芸員による展示の見どころ解説動画は、令和 3 年度も継続して作成・公開しました。

大阪城天守閣ホームページのリニューアルを実施し、スマートフォン・タブレットからのアクセスを意識したデザインに一新、大阪城公園ホームページと同一の会社に制作を委託し、今後の管理の一元化を図りました。なお、新ホームページの本格的な運用は令和 4 年度からとなります。

7. 施設、設備の良好な維持管理

取札・案内・警備・清掃・昇降機の運転業務を業務委託により実施するとともに設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めました。

また、改修や設備更新の主な実施内容は以下の通りです。

- ・大阪城天守閣 WEB サイトリニューアル費用 (令和 4 年 3 月) … 改修費
- ・大阪城天守閣 シアタールーム_再生機更新 (令和 4 年 1 月) … 備品費 10 万未満
- ・大阪城天守閣 1 階売店ショーケース 棚 LED 照明 更新 (令和 3 年 11 月) … 備品費 10 万未満
- ・大阪城天守閣 収蔵庫空調用活性炭フィルター交換 (令和 3 年 6 月) … 保守維持費
- ・大阪城天守閣 東事務所洗面台 温水器取替費用 (令和 3 年 6 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 2 階床タイル目地修繕作業 (令和 3 年 6 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 東事務所洗面台 温水器取替費用 (令和 3 年 6 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 2 階床タイル目地修繕作業 (令和 3 年 6 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 3 階 4 階展示ケースガラスの交換工事① (令和 3 年 10 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 3 階展示ケースガラスの交換工事② (令和 4 年 3 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 床面及びトイレサイン張替費用 (令和 3 年 12 月) … 修繕費
- ・大阪城天守閣 西面石落とし壁面清掃作業費 (令和 4 年 2 月) … 雑費
- ・大阪城天守閣 幹線ケーブル管路導通試験(引替工事の事前確認) (令和 4 年 2 月) … 雑費
- ◇大阪城天守閣 非常放送設備改修(4 か国語対応) (令和 4 年 2 月) … 【大阪市直轄】

〔新型コロナウイルス対策〕

- ・大阪城天守閣 第 2 期展示室系統空気調和機整備他工事 (令和 3 年 12 月) … 改修費※ 1

※ 1 : 文化庁の補助金交付有

- ・大阪市への寄付物品「空気清浄機」の設置用コンセント新設（令和3年5月）…修繕費

8. 大阪城天守閣ミュージアムショップの運営

①「大阪城天守閣復興90周年記念事業」記念グッズ販売について

広報施策「大阪城天守閣復興90周年記念事業」の一環として、天守閣ミュージアムショップに於いては記念グッズの販売を行いました。（令和3年8月1日～令和4年11月6日）

- ・登閣符(単品) [8月1日～ 9,207枚販売]
- ・登閣符セット(登閣符、復刻観覧券、天守閣設計図) [8月1日～ 936枚販売]
- ・大阪城×サクラクレパス「クーピーペンシル」 [11月6日～ 387セット販売]
- ・切手「市民とともに歩んだ90年」 [10月18日～ 82シート販売]
- ・姫路・大阪 藩主松平忠明公 記念符・印 掛軸 [令和4年3月25日～ 7部販売]
- ・書籍「大阪城―秀吉から現代まで50の秘話」他2冊 [合計 67冊販売]

② 大阪城オリジナル食品(お菓子)について

コロナ禍でお客様が少ない状況でしたが、大阪城オリジナルの食品の充実を図り、販売数は、全商品の中でも上位を占めました。

③ 大阪城オンラインショップへの出品について

令和2年11月7日開設の「大阪城オンラインショップ」に、天守閣ミュージアムショップからは「大坂夏の陣図屏風」、「長篠合戦図屏風」、「金箔瓦」、「手拭い秀吉陣羽織(富士御神火文)」など、大阪城らしい商品を厳選して出品。

遠方にお住まいの方や、コロナ禍で思うように外出や旅行に出られない方にも、天守閣ミュージアムショップの商品を知っていただき、ご購入頂きやすいように努めました。

④ 1階のレジのキャッシュレス決済拡充について

従来のクレジットカード利用に加え、令和3年10月26日に電子マネー決済、QRコード利用可能な決済端末を導入し、お客様の多様な要望に応じて利便性を向上させました。

9. その他

(1) 特別な取り組みや対応

① 令和3年度の広報施策テーマ

「大阪城天守閣復興90周年～市民とともに歩んだ90年～」

(令和3年8月1日～令和4年11月6日)

現在の天守閣が昭和6年(1931年)11月7日に竣工し、令和3年(2021年)11月7日で90周年を迎えたことを機に、これまでの大阪城天守閣の歩みを振り返るとともに、市民と復興90周年を祝い、来る100周年に向けての第一歩とすることを目的として実施しています。

キャンペーン期間を長期に設定し、主催事業のみならず、大阪城周辺の施設や事業者、市民団体、天守閣復興に携わった企業など、さまざまな団体に協力を依頼し、また募集要項等を作成、公開して参加事業を広く募り、多角的な事業展開を行いました。

大阪城天守閣復興90周年記念グッズとして、「登閣符(単品)」「登閣符セット」「記念符(単品)」「記念符セット」を作成し、販売を開始しました(令和3年8月1日から令和4年11

月6日までの限定販売)。また、復興90周年を記念して、株式会社サクラクレパスとのコラボレーション企画商品・大阪城×サクラクレパス「クーピーペンシル」の販売を開始しました(令和3年11月6日から)。いずれも、天守閣ミュージアムショップの他、JO-TERRACE OSAKA オフィシャルショップ・大阪城オンラインショップでも拡販しています。

② 「大阪城天守閣の満90歳」を記念して登閣証明書を配布

令和3年11月6日と7日の2日間にお越しの先着5,000人の方に登閣証明書を配布し、7日12時53分に定数に達したため配布を終了しました。

③ 中央消防職員の指導の下、「教養型消防訓練」を1回実施。

・令和3年8月31日から9月10日まで、「教養型消防訓練」を実施。

「消火器の使用方法」「屋内消火栓の使用方法」「避難訓練」「119番通報」に関する4本の動画を視聴しました。

・令和4年1月26日の文化財防火デーに中央消防署と大規模消防訓練を予定していましたが、大阪府のコロナ感染者数が爆発的に増えてきたことをうけて中止となり、予行演習日として設定していた1月14日に中央消防署と合同の訓練を実施しました。

④ 新型コロナウイルス感染症への対応(特記事項)

・検温所(兼連絡先提出所)を設置し、入館前の検温と手指の消毒、連絡先の確認(大阪コロナ追跡システムへの登録もしくは、備え付けの専用用紙への記入および提出)を行いました。

・3密を回避するため、団体については入館予定を事前に確認し共有するとともに、入退館者管理システムにて館内滞留者数を常時確認しながら入館受付業務を行いました。

・展示室系統の空調設備の改修工事を行いました。(1階・2階・3階・5階・7階・8階_展示室)

⑤ 開館延長

夏の開館延長 令和3年8月14日(土)～8月20日(金)、8月22日(1時間延長)、
令和3年8月21日(土) (2時間延長)

(例年実施していた、年度始めの桜開花時期及びゴールデンウィーク、年度末の桜開花時期の開館延長は、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し未実施)

(2) 来館者サービスの向上

① 身体障がい者や高齢者等社会的弱者など、さまざまな方がより安全に利用できるよう、設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めました。

② 1階、5階インフォメーションで貸し出している4ヶ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)対応の音声ガイドは(令和3年4月25日～6月20日の休館期間を除き)感染予防対策を行いながら貸出を行いました。また、音声ガイドコンテンツ拡充業務については、新収蔵品や、復興90周年にあわせ近代のコンテンツも選定し40点×4語を制作しました。

③ 文化財展示解説など212点の外国語表記や館内放送の多言語化に取り組み、館内案内の充実を図りました。

④ 入館者の増加(混雑)対策及び観覧者マナーの改善策

館内の混雑や観覧マナーの乱れによる不快感への対策として、券売所や階段・エレベータ

への誘導員、館内巡視員を入館者の減少に合わせて、検温所等への配置変更や休業体制へ変更、また昨年度に引き続き2階試着体験コーナーの休止にともない試着スタッフを減員するなどコロナ禍の状況に合わせた人員体制をとりながら、快適で安全な観覧環境の確保に努めました。

- ⑤ 職員を対象とした人権研修をDVD視聴&レポート提出方式で2回実施。

令和3年11月：DVDタイトル「コール&レスポンスーハラスメントー」

職場内で一方的な考え方の押し付けや、上司・部下双方の思いのすれ違いからハラスメントが起ることと、その防止のため、上司自らハラスメントを注意したり、部下から上司の気になる点を伝えることの大切さを学びました。

令和4年3月：DVDタイトル「無関心ではいけない！障害者の人権（障害者差別解消法を理解する）」

超高齢化社会では、障がい者に類似するような体験を誰もが体験する可能性があり、無関心ではいられない時代になってきており、視覚障がい者、聴覚障がい者、車椅子の方の日常を通して、周囲の人がどのように配慮をすれば良いのかを学びました。

- ⑥ 個人情報の開示・訂正・利用停止などの手続き専用ダイヤルの継続、および周知文書「お客さまの個人情報のお取り扱いについて」の館内4箇所への設置を継続。（改札・インフォメーション・1階ミュージアムショップ・2階東事務所）
- ⑦ 夏季の避暑対策として改札から天守閣内への階段通路にドライ型ミストを設置。
〔令和3年7月1日～9月30日〕。
- ⑧ 落とし物、迷子等のご案内の際の多言語対応として、平成31年度より正式導入したタブレット端末を用いて多言語対応の定型文を使用した館内放送アプリの活用を継続。
- ⑨ チームコミュニケーションツール「slack」の活用により公園内施設との情報の共有化を図り、利用者への案内や問い合わせ（拾得物や迷子等）対応の充実を図りました。

（3）利用者満足度の把握・利用促進策

- ① 満足度調査の実施

大阪城天守閣入館者を対象に団体客・個人客の発地や大阪城の認知度、情報源、満足度などの来場者調査を令和3年10月29日～10月31日に実施。（報告書は2月に作成完了）

- ② 苦情への対応等

各担当で受けた苦情や要望等をメールや連絡会議等を通じ常に情報共有し、改善に役立てました。

- ③ 施設利用促進への反映

大阪のシンボルである大阪城天守閣に、国内外から利用促進・誘致宣伝策として、次の事業を行いました。

- ・大阪城公園で開催されるイベントとの連携
- ・季節に応じた自主事業によるイベント開催
- ・諸団体実施の内外へのプロモーションへの参加や提携
- ・大阪城天守閣開催事業のプレスリリースや大阪市・区ほか関係団体の情報発信媒体、観光雑誌等への情報提供、交通機関等と連携した広報・宣伝
- ・ホームページの随時更新によるイベント・展示等の情報発信

- ・ ネットを利用したチケット販売も、コロナ禍の影響で利用者が減少していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてホームページ等で案内を行ったこともあり、国内の利用者（直販）は 2,651 人となり、前年度 2,086 人よりは増加。
- ・ 大阪市高速電気軌道(株) (Osaka Metro)、西日本旅客鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱い実施。〔入館者数 5,326 人〕
- ・ 旅行会社等との観光券やクーポンの取り扱い契約やオプションサービス企画への参画による集客促進〔入館者数 8,645 人〕
- ・ 西日本旅客鉄道(株)が企画する「JR-WEST RAIL PASS」参画により誘致を行いましたが、コロナ禍の影響により低迷。
- ・ 大阪周遊パスの入館者は 3,897 人で前年比では 15.9%増加したもののコロナ禍の影響により低迷。（また、大阪観光局の事情により令和 4 年(2022 年)3 月 11 日 13 時から当面の間販売休止されています。）
- ・ 体験型教育旅行プログラムを通じて大阪のファンを増やし、地域活性化につなげる「大阪 B&S (Brothers & Sister S) プログラム」(主催：公益財団法人大阪観光局ほか)の取材協力と受入を行いました。

(4) 自主事業

コロナ禍の影響を見据え、毎年ゴールデンウィークに行っていた大阪城ファミリーフェスティバルは（事業計画の時点で）開催を見送りました。

夏以降のイベントについては、徐々に来館者を増やすべく、感染防止対策をとったうえで開催しましたが、感染状況およびコロナ禍におけるイベント予算の使い方を考慮し、迎春イベントも実施を見合わせました。

① 季節ごとの集客イベント

a. 「大阪城天守閣復興 90 周年 豊国踊りと河内音頭～大阪城物語～」

(令和 3 年 8 月 21 日) 参加者：約 300 人 (のべ)

豊国踊り実演〔宝塚歌劇団 OG・OSK 日本歌劇団 OG、協力：大阪市日本民謡研究会〕

河内音頭「大阪城物語」〔天龍小若丸〕

b. 「大阪城天守閣復興 90 周年記念 大阪城の秋まつり 2021」

(令和 3 年 11 月 6 日～11 月 7 日) 参加者：2 日間合計 約 2,700 人 (のべ)

祝福芸の披露〔豊来家一門〕

河内音頭「大阪城物語」〔天龍小若丸〕

和楽器と舞による「祝宴」〔GOTTA エンターテインメント〕

宝塚歌劇団 OG ショー「ハプスブルク帝国とブルボン王朝」〔鳴海じゅん、美乃杏花、珠まゆら〕

「ゆかりの地の魅力展」〔滋賀県長浜市、和歌山市、長野県上田市、名古屋市中村区、オーストリア・フランス、参城めぐり〕

「豊臣石垣公開プロジェクトの PR ブース」〔大阪市〕

c. 「伏虎（ふくこ）」パネルの設置 (令和 3 年 12 月 20 日～令和 4 年 1 月 31 日)

令和 4 年の干支にちなみ、大阪城天守閣最上層高欄下の外壁にあしらわれた虎のレリーフの写真パネルを大阪城天守閣改札前に設置し、正月らしい風景で来館者を迎えました。

- ② 令和3年度の広報施策テーマ「大阪城天守閣復興90周年」に関連するイベント
- a. 「大阪城天守閣復興90周年記念事業 大阪城天守閣 北川央館長退任記念フォーラム
フォーエバー大阪城～大阪城天守閣のこれまでとこれから～」(令和3年3月30日)
平成26年から館長を務めてきた北川央氏の館長退任を記念し、天守閣復興90周年記念事業の一つとしてフォーラムを実施しました。一般参加者は往復はがきにより事前募集し抽選で決定。
応募数：390件 564名、当選数：286件 416名(定員数350名+歩留まり加算)
当選者の当日実績人数：317名、招待者含む全参加者数：468名
- ③ 前年度／令和2年度の広報施策テーマ「豊臣秀吉」に関連するイベント(延長)
- a. 「駆け上がれ！秀吉～光秀の好敵手 若き秀吉ゆかりの地スタンプラリー～」
(令和2年2月6日～令和3年5月31日)
愛知・岐阜・滋賀・福井・兵庫・鳥取・岡山・京都にある、若き秀吉ゆかりの地に大阪城を加えた14ヵ所の地域を巡るスタンプラリー
スタンプ14個中10個押印でオリジナルピンバッジをプレゼント
令和2年度の広報施策テーマに合わせ令和元年度中に開始しました。当初は令和3年2月5日までの予定でしたが、コロナ禍の影響により参加施設の多くに臨時休館期間が発生し、スタンプラリー参加者から期間延長の希望が寄せられたことから、令和3年5月31日までに期間を延長しました。また、予備対応期間として令和3年6月30日まで期間外対応を実施しました。
協力くださった博物館からは「スタンプラリーをきっかけに館の存在を知ってもらえた」という感謝の言葉をいただきました。また、大きなトラブルもなく、参加者からも概ね好評でした。ピンバッジの払い出し状況では、光秀最後の戦いの地・大山崎で受け取られる方が大変多い結果となり、大河ドラマの影響を受け「光秀ゆかりの地」巡りをメインとし、一緒にスタンプラリーを実施していた方が多かったからと推察されます。
期間中の参加者(台紙の払い出し数)：約71,300名
スタンプ10個達成者数(記念品お渡し数)：766名
- ④ 観光PR出展
- アフターコロナを見据え、感染防止対策を講じながら以下のPR出展を行いました。
- a. 「太閤秀吉シンポジウム～『絵本太閤記』を読み解く～」【愛知県名古屋市】
(令和3年11月25日)
大阪城天守閣と友好協定を締結している名古屋市中村区役所が主催するシンポジウムで、大阪城天守閣館長が出講するのに合わせ、会場ロビーに出展。
配布物：大阪城天守閣リーフレット、テーマ展チラシ、太閤なにわの夢募金チラシ、大阪城オンラインショップチラシ、歴史人謎解きチラシ(参加者159名)
物販：大阪城鯨最中、駆け上がれ！秀吉切手＋レターセット、図録など(売上25,400円/税込)
- b. 「お城EXPO2021」【神奈川県横浜市】(令和3年12月18日～12月19日)
「大阪・尼崎・岸和田 参城めぐりキャンペーン」と、それぞれの城の魅力PRのため、実行員会として三つの城合同で出展。

配布物：(参城)重ね捺しスタンプラリー台紙、スタンプラリーチラシ(大阪城分)太閤なにわの夢募金クラウドファンディングチラシ、大阪城総合ガイド、大阪城ゆかりの地マップ①、大阪城ゆかりの地マップ②+(尼崎城・岸和田城チラシ)(2000組配布)
物販：「記念符」入り復興90周年記念セット(大阪)、シロチュウ(尼崎)、城下町もなか(岸和田)、記念符・御城印セット(三城)(全体売上 381,000 円/税込 ※うち、大阪城分売上 135,600 円/税込)

⑤ 2階 兜・陣羽織・小袖の試着体験と記念スタンプ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中の2階試着体験スペースを、記念スタンプコーナーに転用し、ソーシャルディスタンスマークの貼付やアルコール消毒薬の設置などの感染拡大防止対策を確保した記念スタンプサービスを提供。

⑥ 大阪城天守閣、ミュージアムショップ、JO-TERRACE OSAKA オフィシャルショップとともに、大阪いらしゅいキャンペーン事業(大阪府・大阪市)のクーポン加盟店舗に登録申請し、令和3年11月25日より取扱いを開始。新型コロナウイルス感染拡大により、令和4年2月2日よりキャンペーン利用が一時停止となり、期間が令和4年2月28日まで延長されましたが、結局2月2日一時停止のままで終了。

〔天守閣：175 件 / ミュージアムショップ：51 件〕

⑦ 大阪城天守閣、ミュージアムショップ、JO-TERRACE OSAKA オフィシャルショップとともに、「大阪市 買い物応援キャンペーン」(大阪市)へ参画(令和3年12月1日～12月31日)

〔天守閣：403 件 / ミュージアムショップ：168 件〕

⑧ 公的助成施策の活用(大阪市施策除く)

- ・雇用調整助成金 / 厚生労働省(令和3年4月～令和4年3月)
- ・博物館 感染症防止対策事業の補助金(感染防止事業)/文化庁
- ・博物館 感染症防止対策事業の補助金(空調設備の改修事業)/文化庁
- ・観光庁「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業【区分2】事業者連携型」
東武トップツアーズ(株)経由で285,340 円収受(消費税10%含む)
(有料入館12月1日30名、12月2日31名、1月15日58名)
- ・大阪府「大阪周遊促進事業」日本旅行経由で103,140 円収受(消費税10%含む)
令和3年12月4日から令和4年2月19日のうち10日催行、有料入館191名
(但し、令和4年1月27日以降は大阪府にまん延防止等重点措置で中止のまま終了)

また、以下2種の支援金はPMO事業共通収益とし、天守閣事業へも配分しました。

- ・月次支援金/中小企業庁(経済産業省)(令和3年4月～10月)
- ・事業復活支援金 中小企業庁(経済産業省)

以 上

5. 駐車場にかかる事業報告書

令和3年度においても城南バス駐車場及び大阪城公園駅前普通車駐車場、森ノ宮普通車駐車場の運営を行いました。新型コロナウイルスによる海外観光客激減の状況は変わらず、緊急事態宣言により4/25～6/20は閉鎖となりました。7月～令和4年1月はワクチンの普及、感染者数減により外出の機運が高まったことから前年比を上回りましたが、2月は感染者数が過去最高となった為前年比を下回る結果となりました。バス駐車場の需要が殆ど無い為城南第2バス駐車場は普通乗用車への転用を継続の上運営しました。

令和3年度駐車場利用状況

(消費税別、千円以下四捨五入)

	森ノ宮普通車駐車場		大阪城公園駅前普通車駐車場		城南バス第1駐車場(バス)		城南バス第2駐車場(乗用車)	
	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)
4月	7,683	5,051	5,993	4,698	168	443	2,876	1,931
5月	5	2	5	2	0	0	3	3
6月	1,995	1,447	2,130	2,072	49	153	456	321
7月	7,648	6,001	9,010	9,211	192	683	1,843	1,402
8月	7,855	6,011	8,855	8,981	195	1,006	1,983	1,492
9月	7,899	5,513	7,021	6,150	100	277	1,916	1,319
10月	8,781	6,094	7,826	6,895	362	1,576	2,488	1,886
11月	9,161	6,542	9,367	8,154	740	2,967	3,469	2,571
12月	7,887	5,648	7,177	6,808	733	2,963	2,668	1,879
1月	7,815	5,227	7,164	5,592	134	447	2,758	1,843
2月	7,240	4,681	5,181	3,620	46	197	2,481	1,692
3月	12,471	8,517	11,231	9,052	387	2,317	4,903	3,507
合 計	86,440	60,733	80,960	71,234	3,106	13,026	27,844	19,846

バス駐車場について

新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光客は未だ回復せず、バス駐車場の稼働はほとんど無くなってしまっております。一方で感染予防の観点から来園の際は自家用車をご利用される方が増え、普通車に関しては一定数の利用があることから、城南バス第2駐車場を臨時の普通車駐車場として活用し多くの利用をいただくことができおり、団体観光客の来園が見込まれるまでの間は来園者の利便性や運営の合理性の観点から、引き続き同様の対応を行っていきます。

6.大阪城音楽堂にかかる事業報告書

大阪城音楽堂は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に翻弄された1年となりました。4月5日、大阪府でまん延防止等重点措置がとられ、続く4月25日から6月20日まで緊急事態宣言に、その後7月11日から8月1日までまん延防止等重点措置がとられました。また8月2日から9月30日までは再度緊急事態宣言が出されるなど、ほぼ半年は何らかの措置が出された1年でした。この間、国や大阪府、大阪市の指針に準拠する感染対策を盛り込んだ「ご利用時の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を更新し対応しました。発令された緊急事態宣言の中、4月には延期や中止が相次ぎ、配信のみのイベント利用となりました。翌5月には利用件数は0件となりました。6月下旬からは徐々に利用が戻り、7月及び8月は、市の事業であるたそがれコンサートの開催日が金曜日から水曜日となったことに伴い、週末の土日利用が増え、コロナ禍以前の一昨年度も超える高い利用回数となりました。また1月にはコロナ禍において認めていなかった吹奏楽や太鼓の練習も感染対策のガイドラインの下、再開することができました。

一般的な利用形態以外について、たそがれコンサートは7月8月で5回実施、10月には音楽堂では初めてとなる「能」の開催にこぎつけました。これまで閑散期であった12月から3月の期間ではダンスや太鼓のイベントの誘致で利用回数を上げることができました。

	音楽堂利用回数 (準備・撤収含む)	音楽堂 利用コマ数	リハーサル室 利用回数(音楽 堂利用者含む)	リハーサル室 利用コマ数	音楽堂 来場者数
令和3年4月	6回	12コマ	6回	12コマ	3,405人
5月	0回	0コマ	0回	0コマ	0人
6月	5回	10コマ	5回	10コマ	684人
7月	15回	30コマ	15回	30コマ	14,246人
8月	17回	34コマ	16回	32コマ	7,341人
9月	15回	29コマ	13回	26コマ	8,295人
10月	12回	22コマ	9回	18コマ	6,806人
11月	8回	15コマ	7回	13コマ	3,875人
12月	6回	11コマ	4回	8コマ	1,614人
令和4年1月	0回	0コマ	2回	2コマ	0人
2月	3回	6コマ	3回	6コマ	193人

3月	14回	27コマ	13回	25コマ	4,177人
合 計	101回	196コマ	93回	182コマ	50,636人

＊利用コマ数は、日中1コマ、夜間1コマとし、同じ団体が終日利用した場合、2コマとして計算しています。

音楽堂の利用促進と設備の補修や新設

令和2年度に引き続き、音楽堂利用者からの意見も参考にしつつ感染対策のガイドラインを更新しました。また、音楽堂利用に不慣れな利用者に対しては、感染対策の徹底と指導等も行い、音楽堂からクラスターを発生させないように努めました。

設備面では、客席用の照明の改修、リハーサル室の空調の入替え、大雨時に水がたまりやすい西側法面の排水溝の清掃などを行いました。

また令和2年の2月から運用を開始した光回線のサービスは、年間で50回の利用があり、配信用、コンサート運営用として利用され、コロナ禍においても音楽堂の利用促進につながりました。

7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書

大阪城西の丸庭園は大阪城公園の中でも歴史文化財を有する整備された有料庭園として、また市民の憩いの場として、今年度も多くの市民の方にご利用いただきました。まだ西の丸庭園を訪れたことの無い方に来園していただく為、魅力向上事業を複数計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、前年度末から予定していた観桜ナイターは2年ぶりの開催ならず、昼間のみの開園で今期は始まりました。ご来場者数は下記の通りです。また、大阪迎賓館は、平成28年5月から予約専用のレストランとして事業を開始、G20効果で認知度も高まり西の丸庭園の新たな魅力となりました。豊松庵の活用に関しては大阪迎賓館利用者にお茶会をご案内し、利用者の拡大につながりました。しかしながら、大阪迎賓館、豊松庵とも前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度を通じて営業時間や人数の制限を受けることとなり、また、年末年始からのオミクロン株による感染急拡大によるキャンセルも加わって、本来の姿には戻っておりません。

尚、西の丸庭園は、引き続き入口に消毒液を設置、手指の消毒をお願いしたうえ、三密をさけるよう説明パネルも入口に設置いたしました。また、桜のお花見時期には、シートを敷いての飲食はご遠慮頂くよう案内しました。

今期末より、西の丸庭園閉園時間に限り、大阪迎賓館でお食事のお客様に、芝生上の席をご用意し、デザートを提供するオプションを開始しました（魅力向上事業計画書承認済）。

月		西の丸庭園	豊松庵
令和 3年	4月	6,213 人	9 件
	5月	541 人	13 件
	6月	861 人	8 件
	7月	2,008 人	10 件
	8月	1,385 人	10 件
	9月	1,957 人	12 件
	10月	7,521 人	14 件
	11月	9,779 人	15 件
	12月	3,075 人	8 件
令和 4年	1月	1,427 人	3 件
	2月	1,513 人	5 件
	3月	13,610 人	13 件
合計		49,890 人	120 件

令和3年度実施 西の丸庭園 集客事業

※PMO 主催事業

・謎解きゲーム (第7弾:明智光秀の危機)	4月9日～7月18日	84人	※緊急事態宣言 休園有り
・謎解きゲーム (第8弾:戦国の世の最終章)	11月12日～3月31日	1,156人	※土日祝のみ
・櫓特別公開 2021～2022 (西の丸振替分)	6月26日～11月30日 3月19日～3月31日	7,204人	※土日祝のみ

※迎賓館利用者

見学・打合せ入園含む	4月1日～3月31日	8,091人	
------------	------------	--------	--

令和3年度大阪城西の丸庭園、豊松庵、迎賓館、収入

項目	区分		積算内訳		合計金額	
					税込	税抜
西の丸庭園 運営事業	入園料 収入	一般（有料）	14,579 人	2,896,820 円	2,633,478 円	
		一般（77ビュ）	135 人	27,000 円	24,550 円	
		一般（77ビュ）※未入園分		7,347 円	7,347 円	
		一般（周遊パス）	287 人	28,710 円	26,101 円	
		企画イベント（有料）	7,518 人	1,331,600 円	1,210,553 円	
		企画イベント（周遊パス）	166 人	35,298 円	32,090 円	
		迎賓館利用者収入	8,091 人	1,461,760 円	1,328,879 円	
		合計	30,776 人	5,788,535 円	5,262,998 円	
		西の丸運営事業 合計			5,788,535 円	5,262,998 円
豊松庵	使用料（空調使用料含む）		120 件	3,801,000 円	3,455,467 円	
大阪迎賓館	使用料※施設整備協力金含む		243 件 7,245 人	40,048,338 円	36,407,580 円	
合計				49,637,873 円	45,126,045 円	

※無料入園者数 19,114人

令和3年度大阪迎賓館売上げ実績

月		件数	人数	売上（税抜）
令和3年	4月	19件	821人	51,680,245

	5月	19 件	479 人	44,178,649
	6月	19 件	434 人	39,939,861
	7月	22 件	659 人	42,930,456
	8月	19 件	528 人	37,789,684
	9月	20 件	445 人	47,418,126
	10月	21 件	556 人	54,207,216
	11月	27 件	1,112 人	76,837,945
	12月	29 件	921 人	41,038,586
令和4年	1月	15 件	354 人	16,950,701
	2月	11 件	181 人	18,720,963
	3月	22 件	755 人	59,192,967
合計		243 件	7,245 人	530,885,399

8. 大阪城野球場にかかる事業報告書

大阪城野球場は、コロナの影響を受けながらも、令和3年度も多くのご利用をいただきました。

予約窓口業務

大阪市が運営する会員制の施設予約システム(オーパスシステム)上で利用予約と、料金の支払いが完結しますが、会員でなくても大阪市に在住、在勤、在学の方は利用可能であり、その人たち向けの窓口業務を行っています。令和3年度は、一般利用件数(615件)のうち、窓口直接受け付けは(150件)で、およそ24%となっています。

使用状況の確認と維持

緊急事態宣言による供用中止が4月25日～6月20日の57日間ありました。又コロナ感染拡大防止を理由に毎年恒例だったYATAIフェスがなくなる等、イベント利用のキャンセルもありました。一般利用の中では供用中止の際、予約者1人1人にSMS又はお電話にてお知らせする対応を取りました結果、苦情はありませんでした。

<過去の利用状況との比較>

(単位：利用コマ数)

	令和2 年度			令和3 年度		
	一般利用	整備・工事	小計	一般利用	整備・工事	小計
4月	11	0	11	47	0	47
5月	21	5	26	0	0	0
6月	59	3	62	26	0	26
7月	54	8	62	71	5	76
8月	82	12	94	56	0	56
9月	100	0	100	50	13	63
10月	56	5	61	70	8	78
11月	69	0	69	62	0	62
12月	63	0	63	57	0	57
1月	48	0	48	51	0	51
2月	59	0	59	60	0	60
3月	85	0	85	65	0	65
合計	707	33	740	615	26	641

9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書

JO-TERRACE OSAKA の事業は、飲食店舗 15 店舗 物販店舗 3 店舗 ランナーサポート施設 1 店舗 レストラン・ブライダル施設 1 店舗 合計 20 店舗で運営を行って参りました。(令和 4 年 3 月末現在) また、空き区画は合計 4 区画あり内 2 区画は令和 2 年度から長期継続しておりテナント誘致には苦戦した事業年度になりました。但し令和 4 年度早々には 3 区画の新規テナント誘致も決まっております明るい要素もあります。令和 2 年 11 月より開始した大阪城オンラインショップ(EC ショップ) は小商いではありますが現地に訪れることの出来ない方々への購入手段としてだけでなく、今後の大阪城公園の情報発信効果としてコロナ終息後の集客向上に期待しております。公園内施設等や周辺地域との連携については、JO-TERRACE OSAKA の店舗とのコラボ企画等を実施することで利用者の増大が出来ました。また園内交通システムと店舗とのコラボ企画により双方の認知度向上や回遊性の向上にもつなげることができました。今後も園内利用者の利便性向上のために継続実施を行ってまいります。

令和 3 年度の店舗売上・施設利用者数は下記の通りです。

令和 3 年度 JO-TERRACE OSAKA 売上・利用状況

(消費税別)

	売上	利用者 (人)	備考
令和 3 年 4 月	129,673,021 円	47,632	
令和 3 年 5 月	55,833,315 円	27,745	F テラス 105 区画撤退
令和 3 年 6 月	87,913,786 円	34,908	
令和 3 年 7 月	179,869,765 円	70,292	
令和 3 年 8 月	121,771,498 円	59,452	
令和 3 年 9 月	109,998,040 円	48,738	
令和 3 年 10 月	172,328,018 円	60,700	
令和 3 年 11 月	192,037,577 円	81,650	
令和 3 年 12 月	157,807,559 円	69,025	
令和 4 年 1 月	123,728,710 円	51,668	
令和 4 年 2 月	110,680,917 円	39,275	
令和 4 年 3 月	177,322,598 円	85,250	E テラス 101 区画撤退
令和 3 年度合計	1,618,964,804 円	676,335	

※利用者数は各店舗レシート客数になります。

JO-TERRACE OSAKA 運営状況

施設利用状況は、コロナ感染症の状況が回復傾向になろうとするとブレーキがかかる等を繰り返し、厳しい運営を強いられました。そのような状況の中、施設に隣接する太陽の広場で6月12日から9月5日の約3か月間「木下大サーカス大阪公演」が開催されたことは施設利用の向上につながりました。その反面令和3年度末に近隣施設の大阪城ホールが数年前から予定していた大規模修繕工事が約2か月間実施され、施設利用状況に大きくマイナスの影響をおよぼしました。売上高では令和2年度の2倍の回復でしたが、コロナ感染拡大以前の令和1年度に対しては6割弱の回復にとどまりました。

令和3年度 JO-TERRACE OSAKA 収入

(消費税別)

関係店舗	項目	金額
JO-TERRACE OSAKA (A～F テラス) 19 店舗	使用料等	139,478,514 円
JO-TERRACE OSAKA (G テラス) 1 店舗	使用料等	73,379,028 円
直営オフィシャルショップ	売上原価益	10,822,771 円
収入合計		223,680,313 円

10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書

旧第四師団司令部庁舎をリノベーションし、平成 29 年 10 月に新たな複合施設として誕生した「MIRAIZA OSAKA-JO」。1 階にカフェとお土産物ショップ、2 階 3 階にレストラン、屋上には、眺望の美しいテラスレストランを開設しています。また、玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1 階南端には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々へ情報を提供しています。

令和 3 年度も、新型コロナウイルスの感染拡大により大阪城天守閣への観光客は激減が続き、同様に MIRAIZA OSAKA-JO の入館者も激減したままでした。新型コロナウイルスの感染拡大が何度も繰り返し、その度に、政府・自治体から緊急事態宣言・まん延防止措置の要請により、各店舗は営業の自粛、時短営業などの対応を取りました。

9 月 30 日に 4 回目の緊急事態宣言が解除されてようやく国内感染者の数が落ち着き、経済活動を再開する機運が高まりました。昨年度に疫病退散の願いを込め、好評を得た赤い天守閣と虎が描かれた「赤絵」を利用し、11 月より大阪市の事業として、回遊型の「赤絵リアル宝探し」を、MIRAIZA OSAKA-JO と JO TERRACE OSAKA とを拠点に実施しました。これは、大阪城公園のみならず、天王寺公園やくらしの今昔館という市の施設と連携して実施した回遊型の施策で、子供たちを含め、大阪市民の皆さん、公園を訪れた人たちに無料で気軽に参加して楽しんでいただきました。

屋外で感染防止が図りやすい屋上のテラスレストランは今年度も好調でした。新しい層のお客様にお越しいただくことができた半面、国内の観光客も移動の自粛が何度も繰り返されたことにより、年度を通じて全店舗へのダメージが続きました。各店舗は、昨年度より引き続き売上が戻らず、経営的に厳しい状況が続いています。

運営状況

① レストラン&カフェ

1 階には、喫茶・軽食を提供するカフェと、たこ焼きをメインにした飲食店を配置しています。観光客をメインターゲットにしてきたため、大きく売り上げを落としたままでした。そこで、地元や近隣のお客様にももっと楽しんでもらうよう、メニューを工夫するなどターゲットを切り替りかえる努力を続け、秋には少し売り上げが回復しました。

2、3 階には、近代建築を生かしモダンな内装の中で、ランチやディナーをお楽しみいただくことができるレストランを配置しています。2 階のイタリアンレストランは、特に国内のお客様を意識し、毎月、旬の食材を活かしたメニューの提供を続けています。好評だったビュッフェスタイルでの食事提供は一定の期間取り止め、個別の配膳型サービスに切り替えていました。国・自治体のガイドラインに沿って感染対策等を構築し直し、ビュッフェを再開しています。

3 階の“和のテイスト”を活かしたフレンチレストランは年度を通して休業しました。屋上には、天守閣を臨むテラス・レストランを設置し、3 月から 11 月の期間は、季節限定でバーベキューのできるレストランとして営業しています（冬季は休業）。日本随一のキャスルビューを楽しみな

がら食事ができるお店としてリピーターも多く、コスト以上の料理や食材・サービスの質の高さが口コミで広がり、コロナ禍でも、多くの方々にご利用いただくことが出来ました。感染リスクの少ない屋外での営業であるのも、好調の要因であると思われます。憩いを求めて来園される方も多い中、市民にゆったり上質なサービスを提供しています。

他に、テナントにとって大きな経営の柱となるバンケットルームや結婚式の運営について、年度を通じて受注数は減り、大きな宴会やパーティーはほとんど行われませんでした。一方、結婚式は、歴史的な近代建築をリノベーションした建物は趣があり、スタッフのサービスも評価が高く、感染対策を十分に施し、規模を縮小した形で粛々と行われています。

② お土産物販売

1階に「本陣」「忍屋」という2店舗が営業しています。

これまで、主にインバウンドの観光客をメインターゲットに商品の構成をしてきたため、今年度は大きく売上を落とたままでした。

ターゲットを国内観光客・近隣からの来園者に変え、大阪らしい土産物、日本の心を伝える和雑貨などに加え、マスク等の日常品や人気アニメのキャラクター関連商品を増強する等、さまざまな工夫・努力を重ねています。

その一環として「本陣」では、12月から人気キャラクターの特設売場の催事を開始しました。第一弾としては、サンリオの人気キャラクター「リラックマ・すみっこぐらし」の期間限定ショップを開設し、多くの方にご利用いただきました。

③ インフォメーション

1階ロビーの観光インフォメーションでは、大阪城公園の情報ははじめとし、大阪観光のお手伝いもできるよう幅広い情報を提供しています。天守閣のインフォメーションやJO-TERRACE OSAKA、パークセンターとも連携し、公園内の回遊性の向上を図っています。

コロナ禍の中でも、訪れるの方々にとっての手助けになるよう努め、サービスの質を維持していきます。

④ 歴史情報等の発信

1階南端に設置した展示室「特別史跡・大坂城跡」は、大阪城公園の歴史と公園各所の見どころを解説・展示したエリアで、オープン以来、多くの来場者の方にご覧いただいています。

今年度も国内旅行者や近隣の方々がじっくりとお楽しみいただいている姿が多く見受けられました。感染対策を行いながら、コロナ禍でも展示室の開放につとめています。

⑤ 体験施設

地下1階の北側に日本殺陣道協会」による「殺陣」の体験施設については、着物の着付けや消毒など、感染に留意すべき点が多く、年度を通して休業しました。コロナの影響が続く令和4年度も、当面の間休業する予定です。

令和3年度 MIRAIZA OSAKA-JO 各店舗売上 および PMO収入

消費税別（単位：千円）

月	物販 (本陣・忍屋)	軽食 (処-ズ・利休)	レストラン (TLO)	ウェディング グ バンケット	地下施設 殺陣
4	3,519	2,307	9,321	88,580	0
5	193	251	0	30,011	0
6	872	398	0	24,126	0
7	2,776	2,521	6,751	36,934	0
8	570	137	1,812	9,745	0
9	1,548	0	2,073	37,342	0
10	3,497	3,066	9,089	91,579	0
11	6,703	6,752	9,661	108,804	0
12	16,463	4,905	6,644	64,208	0
1	11,401	3,876	2,231	25,955	0
2	5,457	2,707	1,845	57,173	0
3	25,397	8,301	9,319	105,488	0
合計	78,396	35,041	58,742	670,946	0

関係店舗	項目	PMO 収入（円）
MIRAIZA OSAKA-JO 5 店舗	使用料・共益費他	177,302,856 円
自販機販売手数料	売上	1,181,823 円
収入合計		178,484,679 円

令和4年4月現在、新型コロナウイルスの感染拡大の波は少し収まっているものの、感染者数は多いままで、収束の目途はたっていません。国内では3回目のワクチン接種が国民のある程度の範囲まで広がり、「ウィズコロナ」の生活様式は、定着しつつあります。世界的には、行動制限を緩和していく方向で進んでいますが、インバウンド客が再び大阪に戻るまでには、もう少し時間を要すると思われます。

MIRAIZA OSAKA-JO は、大阪城天守閣前という絶好の位置にあるがために、観光需要の恩恵を受けてきました。国内外含めた観光客が活発に訪れる時期がくるまでは、近隣住民や大阪市民・近郊の方々に向け、地道にサービスを提供する努力を続けるしかありません。各店舗には、経営的に苦しい時期が続きますが、コロナ禍を乗り越え、長く続けられるよう、引き続き可能な範囲で手を差し伸べたいと考えます。

今年度集客の一助となった、天守閣に関連した「赤絵」事業や、「参城キャンペーン」企画など大阪城とその歴史も意識した企画を実現し、集客に繋げたいと考えます。また、令和6年の春に予定され、当施設と隣接することになる「大阪城豊臣石垣プロジェクト」公開についてどのように連携していくか、探っていきたいと思います。

現時点で、ミライザで特に人気のある施設は、屋上のテラスレストランと、1階土産物店内で展開しているキャラクターの催事販売です。これらの店舗や施策には、Web・SNSや園内看板などを有効に活用して応援し、ミライザの入館者を増やします。

今年度予定されている「府民割」「いらっしやいキャンペーン」「Go To」など国・自治体の振興策をいち早くキャッチし、販促企画や国内旅行者への情報発信に努めます。

課題のひとつとして、「イリュージョンミュージアム」を閉館した後のミライザ地下の活用についての問題があります。立地的に、観光地としての大きなメリットと、アクセスの悪さというデメリットが共存しています。引き続きじっくりと検討していきたいと考えます。

11. 森ノ宮噴水エリアにかかる事業報告書

森ノ宮噴水エリアはコロナ禍においても他のエリアに比べて比較的多くの来園者が見られ、休日には家族連れを中心ににぎわう日も多くありました。ポーネルンドは室内でお子様が遊ぶことから感染のこともあり苦戦しましたが、魅力向上事業により整備したローソン、アールベイカー、スターバックスやポーネルンドプレイヴィルの運営は音楽堂の稼働に伴い、当エリアも来客数が増え、中でもアールベイカーは営業努力や公園との親和性の高さもあり、売上・客数ともに好調に推移しました。ボタニカルショーケース(ガーデン)を中心とした芝生のエリアは市民の憩いの場として親しまれつつあり、エリア内の各店舗も感染拡大が小康状態になった際には多くの来園者にご利用いただくことができました。持参した水筒に給水ができる大阪市水道局の給水スポットも設置され、ランナーには好評を博しております。

		内訳（税別）	備考
収入合計（A）		32,952,000 円	ローソン除く
項目	委託運営収入(施設使用料)	32,952,000 円	
支出合計（B）		4,410,548 円	
項目	管理委託費等	788,500 円	
	減価償却費	990,495 円	
	共通費	2,631,553 円	
収支（A）－（B）		28,541,452 円	

12.COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書

令和3年度は、4月5日に大阪府に「まん延防止措置」、同月25日からは「緊急事態宣言」が発出されました。そのため中止、延期の公演が相次ぎ5月至ってはWWホールでの公演実施はなし、TTホール、SSホールでは、ほぼ全てが無観客でのオンライン配信となりました。宣言は6月20日まで続き、それ以降も配信と有観客の混在する運営となりました。7月は、コロナ禍であったものの高稼働となり入場者数も年度最高の数字となりました。8月再び緊急事態宣言が発出され、再び公演の中止や延期が出ました。宣言が明けた10月以降は、今度は出演者の感染などで中止になる公演もありましたが、徐々に日常を取り戻しつつあります。また演目では、舞台モノだけでなく音楽ライブや高級ブランドの展示会など裾野が広がってきています。

今年度は、WWホール 134,940人、TTホール 62,350人、SSホール 47,075人と昨年比239%の合計244,365人を動員となりました。

	WW ホール	TT ホール	SS ホール	総入場者数
令和3年4月	10,480	2,540	2,260	15,280
5月	0	0	0	0
6月	5,140	480	1440	7,060
7月	18,620	8,630	4,240	31,490
8月	11,180	9,200	4,735	25,115
9月	12,600	4,610	3,420	20,630
10月	12,690	3,360	4,090	20,140
11月	8,530	5,860	5,230	19,620
12月	11,340	7,710	6,170	25,220
令和4年1月	9,040	9,510	5,760	24,310
2月	21,100	4,220	4,150	29,470
3月	14,220	6,230	5,580	26,030
合 計	134,940	62,350	47,075	244,365

(単位 人)

13. 園内交通システムの運行にかかる事業報告書

園内交通システムは昨年度に引き続き、来園者の利便性と周遊性向上のためロードトレインとエレクトリックカーでの運行を行いました。新型コロナウイルスによる観光客減の影響は続いており運営存続も危ぶまれる状況にありましたが、状況に応じたメリハリのある運行の変更、おもてなしを意識したサービスの向上に取り組みました結果、年間乗客数は昨年度比でロードトレイン19%増、エレクトリックカー59%増となりました。また、安全大会を2ヶ月ごとに開催し、乗客や来園者に対する安心安全への取り組みや接遇教育、スタッフ同士の意見交換などを実施し、課題の改善に努めました。

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	639,200	2,080	831,900	2,541	557,900	1,853	627,000	2,059	524,900	1,695	665,600	2,144
JO-TERRACE前駅	279,400	935	256,200	856	324,000	1,101	750,200	2,472	595,800	1,998	379,400	1,273
極楽橋駅	240,200	992	234,900	893	143,800	570	217,600	850	162,600	631	193,700	792
豊国神社前駅	24,500	123	18,900	77	13,500	62	6,200	28	9,100	37	13,300	52
手売り合計												
小計	1,183,300	4,130	1,341,900	4,367	1,039,200	3,586	1,601,000	5,409	1,292,400	4,361	1,252,000	4,261
エレック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック3号	41,200	234	0	0	0	0	121,800	590	24,500	131	20,800	116
エレック4号	56,000	401	49,300	303	25,500	155	124,400	653	73,100	384	118,900	671
エレック5号	95,700	605	62,000	400	73,400	426	36,200	211	85,800	480	20,300	121
エレック6号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Jクラシック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Jクラシック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	192,900	1,240	111,300	703	98,900	581	282,400	1,454	183,400	995	160,000	908
合計	1,376,200	5,370	1,453,200	5,070	1,138,100	4,167	1,883,400	6,863	1,475,800	5,356	1,412,000	5,169

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	862,100	2,760	1,283,400	5,153	975,600	3,319	802,900	2,841	531,100	1,854	1,678,900	6,141
JO-TERRACE前駅	418,300	1,384	848,100	3,389	747,700	2,573	526,300	1,842	237,900	866	1,119,900	4,347
極楽橋駅	248,800	985	917,000	3,956	378,200	1,536	333,600	1,340	145,500	648	826,200	3,603
豊国神社前駅	34,800	118	72,800	338	29,700	125	0	0	12,500	50	27,400	117
手売り合計							-10,500		-10,100		-30,800	
小計	1,564,000	5,247	3,121,300	12,836	2,131,200	7,553	1,652,300	6,023	916,900	3,418	3,621,600	14,208
エレック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック2号	0	0	44,400	306	260,700	1,464	204,100	1,300	56,400	336	156,200	965
エレック3号	67,500	391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エレック4号	86,100	579	251,400	1,573	84,600	509	100,200	628	123,400	735	303,500	1,834
エレック5号	107,700	672	324,200	1,966	179,200	1,093	150,900	901	63,800	396	203,300	1,229
エレック6号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Jクラシック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Jクラシック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	261,300	1,642	620,000	3,845	524,500	3,066	455,200	2,829	243,600	1,467	663,000	4,028
合計	1,825,300	6,889	3,741,300	16,681	2,655,700	10,619	2,107,500	8,852	1,160,500	4,885	4,284,600	18,236

	金額	人数
ロードトレイン	20,717,100	75,399
エレクトリックカー	3,796,500	22,758
合計	24,513,600	98,157

次年度に向けて

エレクトリックカーの利便性や乗る楽しさを創出する為に新コースの設定や車体変更を検討してまいります。又インフレに伴うコスト増にも対応することを考えていきます。

14.施設・公園管理にかかる事業報告書

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者減に伴い、各施設及び園内の警備・清掃について、品質を担保しつつ業務実施体制・頻度等を昨年度から継続し見直しを行いました。

近年、園内埋設給水配管の経年劣化による漏水が発生しており、日常点検において早期発見に努め、迅速に修繕を実施しました。

今後も実施計画に沿って日常点検及び定期点検を行い、その際に発見した不具合については大阪市公共施設マネジメント基本方針に準じた修繕を実施するとともに、大阪市にて計画・実施される改修・整備工事を確認しながら、計画的に改修・修繕を進めて参ります。

年間・月間作業実績

関係法令および各施設の維持管理の水準を遵守し、作成した年間・月間維持管理計画に基づき実施しました。

作業の計画・実績については、月例のPMO事業モニタリング会議にて報告し、承認を得たうえで進めて参りました。なお、各施設の主な作業実績・予定をワンペーパーにまとめた資料を作成し、会議での報告方法の改善を図りました。

今後は、引き続き各施設・設備の適正な作業実施時期について検証し、作業計画を策定・見直して参ります。

日常点検及び定期点検

公園利用者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて巡視を実施し、施設及び設備の不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めました。10月、3月には極楽橋スロープにおいて、床板の破損、ひび割れを発見したため、設備員の巡視を強化すると共に床板の補修を行いました。

定期点検について、年2回実施し、点検時に発見した不具合箇所の整理及び報告書を作成しました。

清掃

園内清掃に関しては常駐する清掃業者の責任者との連絡を密にし、放置ごみの速やかな回収及び日々の清掃状況の確認・指導を行わせることで公園の美化に努めました。

公園トイレの清掃については、消臭効果に優れた洗剤を継続的に使用、トイレ改修に併せて便座清掃用のディスペンサーの設置を行いました。また各トイレ内及び自販機周りはゴミが多くなる傾向がありますが、早朝からゴミ回収を行い、美化向上に努めました。

園内のボランティア清掃は、積極的に受け入れ市民と一体となった公園美化の推進を図ってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の観点からお問い合わせ・受付時に注意喚起を行いました。

今後は、来園者の利用状況・汚損状況を確認しながら、業務実施体制・頻度等の見直し、必要により特別清掃を計画・実施し、美化及び品質向上に努めて参ります。

警備

巡回警備については公園内を大きく3つのエリアに分け巡回を行い、不適切な公園利用及び明らかにその恐れがあると認められる者を発見した際には直ちに注意・制止し、適正かつ安全な利用を行うよう指導しました。(釣り、スケートボード、電動キックボード等の危険行為、犬のリード外し、ドローン飛行、楽器演奏、ビラ配布、無許可営業、他の公園利用者に迷惑となるような長時間場所を占用する行為等)

特に、春にはコロナ対策における巡回での声掛け注意喚起、魚釣りに対して啓発看板の更新及び釣り人への注意に加え警告ビラの配布対応、園路を幅広く使用したスケートボードの急増が見られ、休日・夜間を含め巡回を強化しました。

事件・事故が発生した際には直ちに現場に駆け付け、現場の保存と被害の拡大防止に努めるとともに、大阪市に速やかに報告しました。

放置自転車・ホームレス対策

公園内の放置自転車対策として、日々の巡回時に確認・警告札の貼付を行い、年間で42台の放置自転車を園内移動・保管し、大阪市に報告しました。

ホームレス対策としては、日々の巡回警備において状況を確認するとともに、実態調査・ヒアリングを実施し、都度大阪市に報告・共有しました。

「公園猫適正管理推進サポーター制度」にかかる対応ほか

公園猫適正管理推進サポーターからの報告書等の提出があった場合は受付を行い、大阪市へ適切に引き継ぎました。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物の遺棄・虐待・身勝手な給餌行為(置き餌、撒き餌など)の取り締まりを行うとともに、これらの行為を行わせないように注意喚起を行い、公園利用者への啓発に努めました。

バーベキュー対策

平成29年末より実施したBBQの全面有料化により、無許可のBBQ事業者による長時間の場所取りをとしての営業、大量に発生する放置ごみの問題がほぼ解消されてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛ムードの中において、BBQは全面的に禁止といたしました。花見シーズンには啓発看板の設置及び巡回警備による警戒強化、声掛けを行いました。

光熱水使用実績

年間の光熱水(電気・水道・ガス)使用量のうち電気使用量については、施設の増加に伴い使用量も年々増加しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の減及び施設の臨時休館・テナントの休業等に伴い、一昨年度と比較して減少しました。(令和元年度:7,546 MWh、令和2年度:5,821 MWh、令和3年度:5,643 MWh) 今後は、引き続き照明の点灯時間の最適化・消灯の可否について検討し、使用量の削減に努めて参ります。

水道使用量に関しても、新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の激減及び施設の臨時休館・テナントの休業等の影響の他、漏水箇所の止水・迅速な修繕の実施により一昨年度と比較して減少しました。（令和元年度：141,198 m³、令和2年度：89,497 m³、令和3年度：集計中 m³）

修繕実績

点検等の結果、異常を発見した施設及び設備は危険箇所の安全対策を行うとともに、速やかに手配を行い早期復旧に努めました。簡易な補修・修繕については内製化により、早期復旧及び費用削減を図りました。作業の実施にあたっては、危険防止のための作業エリアをバリケード等で囲い、公園利用者及び作業員の安全対策を講じました。（令和元年度：55 件-2,993 万円、令和2年度：81 件-1,670 万円、令和3年度：51 件-2,019 万円／税込）

なお、市民の森中継層汚水中ポンプについて、故障に伴い交換を実施しました。公園内トイレの各汚水槽水中ポンプは経年劣化による故障が発生してきておりますので、大阪市にて計画・実施される改修・整備工事を確認しながら、計画的に改修・修繕を検討する予定です。

廃棄物実績

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による来園者の減及び施設の臨時休館・テナントの休業等の影響に伴い、公園・各施設とも廃棄物の量は一昨年と比較して減少しました。また、公園内にはゴミ箱を設置せず、ごみの持ち帰りの呼び掛けを行いました。

今後は、引き続き公園の美化を目的としたごみ持ち帰り等の啓蒙活動を推進して参ります。

検討課題等

近年、集中豪雨が多くなってきており、特に森ノ宮噴水広場から青屋門下付近にかけては園路が川のような状態となるため、来園者が園路の横断に苦慮されることが散見されます。枯葉や土による集水桝の詰まりもあり、集水桝の清掃を計画的に実施しましたが、豪雨時現場を確認したところ排水はされているものの、一時的な雨量が排水計画量を上回っていると想定される状況だったため、引き続き大阪市と検証を進めて参ります。温暖化の影響と思われる豪雨が多くなってきており、特に森ノ宮噴水広場から青屋門下付近にかけては川のような状態となるため、来園者が園路の横断に苦慮されることが散見されます。雨水桝や排水管の清掃を計画的に実施してきましたが、豪雨時の水量が排水計画量を上回ってきていると想定されるため、大阪市と検証・検討を進めて参ります。

15. 植栽管理にかかる事業報告書

来園者に対し、気持ち良く安全な公園の緑・草花景観を提供するために大阪城公園事務所と適宜打合せを行い、経験、知恵を頂きながら緑地管理を計画し、特に5年間評価を受けて樹勢回復の為花木(サクラ、ウメ、モモなど)に対し、施肥の量を増加させ、来園者及び大阪市から一定の評価を受けることが出来ました。剪定についてはさらに向上を目指し適切な方法を学ぶことで作業者の技術向上を試みました。また、石垣、濠など大阪城公園特有の施設に対し格別の注意を払い管理を行いました。特に危険な枯れ枝、掛り枝について発見の都度対応、サクラの時期の前に集中的に撤去致しました。引き続き植物発生材は剪定枝に落ち葉、刈り草を混ぜながら破碎しチップ化、熟成する事で活性堆肥とし、園内に敷きならす事で草抑え・土壌の膨軟化を促す事が出来ています。

事業計画に対して

(1) 留意事項

- ① 実施にあたり、関係法令等を遵守するとともに、年間・月間維持管理計画を作成し、モニタリング会議で大阪市の承認を得たうえで、適切な時期・方法により行いました。
- ② 業務の実施にあたり来園者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて土曜日を含めた園内巡視・日常点検を行い、枯枝などの不具合等を発見した場合、適切かつ迅速に対応し、適正な公園利用、維持管理、安全対策に反映させました。しかし樹木個体が枯死した樹木や植栽は、優先順位を付けて対応致しました。
- ③ 作業にあたっては、危険防止の為作業エリアをカラーコーン、バリケード等で囲い、「作業中・立入禁止」であることを明示し、必要に応じ交通整理員・見張り員・誘導員等を配置し安全対策につとめました。またやむを得ず園地外の歩道、道路を使用する場合は、東警察署に道路使用許可を得て通行者・来園者・公園利用者の安全対策を講じました。
- ④ 今年度植栽管理において、第三者災害を1件起こしてしまい報告させて頂きました。今後園内での事故発生0件を目指し、徹底した安全管理を行います。
- ⑤ 剪定枝葉等の運搬にあたっては、飛散防止対策を講ずると共に過積載防止を遵守し関係法令を遵守致しました。
園内管理車両は公園利用者に十分注意し、最徐行にて走行しました。
引き続き園内接触事故0件を目指します。
- ⑥ 管理対象植物の台帳管理を行いました。また植栽により増数、撤去により減数が発生した場合は別表で管理しました。

- ⑦ 樹木管理にあたっては常に公園内の見通しを確保するために低木を部分的に 1mの高さに切り下げる等の作業を行い、景観の向上事故や犯罪等の発生の抑制に努めました。
- ⑧ 危険木、枯枝、掛かり枝の早期発見に努め、迅速かつ適切に除去して枝等の落下事故等の発生予防に努めました。また回収、運搬の際には積荷の飛散防止、荷台からの枝のはみだしに注意し、事故の発生予防に努めました。
- ⑨ 当該公園に植栽された植物の特性を踏まえ、植物の良好な生育に必要な作業を、適切な時期に決定した方法で細心の注意をもって作業にあたりました。
- ⑩ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬については、公園内保管は行わず、必要になった場合はその都度持参し、使用後の残りは持ち帰りました。
- ⑪ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬使用に際しては、飛散範囲や散布後の効能期間、公園利用者等の健康面（アレルギー等）にも十分配慮して作業を行いました。
- ⑫ 植物の残材処理については、所定の場所に集積しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律など、関係法令を遵守し、適切に保管・処分を行いました。なお、剪定枝等の処分について、大阪市建設局と協議のうえチップ(活性堆肥)化など、環境に配慮した処分に努めました。

(2) 管理の水準

① 剪定（高木）

- ・専門技術者を講師に招き、指導を受けた方法で樹種特性や樹勢に応じて剪定の必要性や度合いを見極め、適切な時期と方法で行いました。
- ・公園樹木の剪定は、自然樹形仕上げを踏襲、基準とし、骨格枝を更新するなどの方法を活用して樹形を維持しました。
- ・マツの剪定においては、著名な造園家に指導を頂き、景観のレベルアップを図りました。
- ・ウメ、モモ、アジサイ、フジなど花木類の剪定は、花芽の分化時期や着蕾位置に注意して行い良好な開花を促す事が出来ました。
- ・樹種に応じて枯枝や混みあった枝等の枝抜き（間引き）作業などを行いました。
- ・並木等、園路や広場など利用が多い場所は、特に枝の落下等の危険性を除去するとともに、景観面に配慮し、枯枝及び枝抜きなどを適切に行いました。
- ・高所作業の災害発生を防止するため、手順書の作成等必要な安全対策を講じ、現場での作業を行いました。

② 刈り込み（中低木）

- ・低木類が大きく育ち、園路へのはみ出しによる通行障害や見通し不良など不具合があったため、部分的に大きく切り詰める作業を実施しました。

- ・密生箇所を刈り透かし、刈地原形を考慮しつつ、年間を通して美観を損ねないよう適切に刈り込みました。
- ・美観を維持する為、主幹園路や掘沿いの刈り込みは連続性をもった景観保持に留意し、エリアごとに完成させてから、次のエリアに移りました。
- ・道路際や園路際で通行障害となる箇所及び施設等と隣接地においては、安全等に配慮し、刈り込みを適宜行いました。
- ・次期の開花を考え、生垣は適切な時期に樹形の整正を行うための刈り込みを行いました。
- ・花木類を刈りこむ場合は、花芽の分化時期と着蕾位置に注意して行い、開花させることができました。
- ・刈り込みの際は、植栽地内及び周辺の除草も併せて行い、ヤブガラシなどツル性の雑草については、出来る限り根から抜き取り除去しました。

③ 枯木撤去

- ・枯木の有無を日常的・定期的に点検し、早期発見と撤去に努め、倒木による事故等を未然に防ぎました。また作業にあたっては安全な作業領域を十分に確保し、事故等を未然に防止しました。
- ・枯損樹木の一覧表を作成し、順次除去を行っております。令和3年度は22本の枯損樹木の撤去を行いました。
- ・樹木撤去については、原則地切りしております。地切りにあたっては、来園者が躓かないよう地表面での切除に心掛け、出来ない場合は土をかぶせる事で段差を無くしました。
- ・抜根は根返り倒木したもの、史跡に影響のないもので実施しました。史跡エリアで抜根が出来ない場合は、切削または地際での伐採を行いました。
- ・根または幹の一部を存置する場合は、事故が生じないよう適宜対策を講じました。

④ 障害枝等剪定

- ・来園者や管理車両の通行等の障害となる枝や、枝折れによって落下するなど、事故につながるおそれのある枝は切除し、来園者の安全確保に努めました。
- ・枯枝の有無を日常的に点検し、早期発見と除去に努め、落枝による事故等を未然に防ぎました。

⑤ 病虫害防除

- ・農薬使用にあたっては、農薬取締法等の関係法令やメーカーの使用安全基準を遵守するとともに、害虫の早期発見に努め、使用を最小限にとどめるように努めました。
- ・農薬は使用時持参し、使用后持帰り保管することを徹底し、大阪城公園内に保管することはありませんでした。
- ・散布に際しては、「公園・街路樹等の病虫害・雑草管理マニュアル（環境省水・大気環境局 平成30年3月）等を遵守するとともに、散布にかかる事前・事後の周知方法及び期間については、事前に大阪市の承諾を得ました。
- ・害虫発生時は、農薬を使用しない方法（剪定防除、捕殺、巣網剪除等）により防除を行いま

した。農薬使用時は、事前事後の告知等により来園者に周知の上、安全衛生対策を実施しました。

- ・病気発生の早期発見に努め、原因に応じた農薬を使用して早期に改善しました。なお、松枯病、PPV等の発生時には被害の拡大を防止する為の処置を迅速に行うこととしておりました。現時点において上記緊急性を要する事項は、確認されていません。
- ・平成28年度に当公園に発生したカシノナガキクイムシは、令和元年度に続き今年度も発生しませんでした。引き続き調査を行います。
- ・平成30年1月に特定外来生物に指定されたクビアカツヤカミキリについて、公園内のバラ科樹木の点検を実施しましたが、令和3年度はフラスも発見されませんでした。令和4年度も引き続き点検を実施していきます。

⑥ 灌水

- ・花壇、地被植物、芝生、花木、植栽樹等が枯損しないよう灌水を行いました。夏季の水分不足は防ぐことが出来たと考えます。また、特別園は従前より灌水回数を増やし、点検を行う事で水不足を防ぎました。

⑦ 施肥

- ・専門技術者を講師に指導を仰ぎ、方法を教示頂く事で、施肥を行う際の注意点を考慮し、樹木特性や肥料の目的（寒肥、追肥等）を考慮し、効果的な時期、方法で行いました。

⑧ その他

- ・不要になった支柱及び添木の撤去を行いました。一部残っている支柱や添え木は不要を確認し撤去して行きます。
- ・支柱等の結束に使用する針金等は、端部処理及び保護を適切に行いました。

⑨ ウメ、モモの管理

- ・花後、早咲きから遅咲きの品種に合わせて翌年の開花に影響を与えないよう速やかに剪定を行いました。また樹形維持のために枝等の更新を行いました。令和3年度の開花状況は前年度同様充実しており、来園者の意見も「きれいに咲かせていますね」という意見を多数いただきました。・花後の剪定以降、成長に合わせて芽摘みを行い、小枝の展開と充実を図りました。
- ・開花前に整枝剪定を行い、樹形を整えました。
- ・昨年同様に梅林、桃園の管理については、とくに留意しました。管理マニュアルをリニューアルし、現場での剪定方法指導の強化を行いました。
- ・PPVの感染予防として大阪城公園梅林、桃園専用の剪定鋏、ノコギリを使用し、前後にはアルコール消毒を行いました。また、その道具を誰が何時使用したか履歴確認が出来るよう台帳管理を行いました。
- ・園路沿いは剪定回数を3回／年を守り、灌水の方法、回数にも留意し、適切な灌水としました。

⑩ マツの管理

- ・今年度も樹木全体や枝ごとの樹形及び樹勢を考慮して、適切な時期に剪定を行いました。
本丸地区、大手前広場等公園の入り口等来園者が多く目を引く場所は全て年内(12月中)に作業を終えました。
- ・今年度も引き続き著名な造園家に指導を頂き、思い切った枝抜き、将来を見据えた切除位置の改良を行うと共に若い職方の指導、レベルアップをすることが出来ました。

⑪ 芝生管理

- ・刈り残しやムラが無いよう均一に刈り込み、除草は部分的に手抜き除草とし丁寧に抜き取りました。
- ・育成の為、エアレーション、目土散布、灌水、施肥等の作業を適切に行いました。
- ・西の丸庭園及び大阪城野球場の芝生管理は、年間を通して常に良好な状態を保つため、芝生の生育状況を把握し、芝刈り、病虫害防除、灌水、施肥、目土等を必要に応じて行いました。
また芝刈りは、樹木、施設などに損傷を与えないよう注意し、刈り残しやムラの無いよう均一に刈り込みました。縁切りは、園路に「ほふく茎」が進入しないよう切り込みました。
- ・西ノ丸庭園に繁茂するシロツメクサについては刈込の対応を致しましたが、適宜除草を行い増殖をしないよう管理致します。

⑫ 地被管理

- ・植樹帯等にある地被については、ごみ、雑草、落ち葉等の堆積に留意し、適正に管理しました。また、令和3年度に補植は有りませんでした。

⑬ 花壇管理

- ・園内の路地花壇、プランター等は常に美しく鑑賞できるよう年間計画工程を作成し、植替えを行いました。
- ・適宜、中耕除草、花がら摘み、灌水、施肥等の必要な作業を実施し、草花の良好な状態を維持しました。
- ・森ノ宮中央花壇は灌水、除草の管理をたね花の市民ボランティアで行いました。

⑭ 野球場・太陽の広場等の整備

- ・野球場や太陽の広場等のメンテナンス作業を行う場合は、事前に利用状況等を確認し、年間のメンテナンス計画を作成して作業を行いました。作業の実施にあたっては、オーパスシステムに作業日時を登録し施設利用者に周知しました。
- ・運動施設の機能性や安全性、快適性に配慮し、常に良好な状態を維持するよう努めました。
- ・必要に応じて、土入れ、不陸整正、集水桝清掃などを行いました。

⑮ 掘及び流れ等（自然形態の水景施設）の水面清掃

- ・掘の水面の環境保全、美観や景観保持のため、全域の藻や浮草等の状況を点検し、ボート等の機材を活用して、除去作業は年1回（冬季）、場所によっては2回（東外堀、内堀トリアスロンは中止となりました）を基本に実施しました。また、藻や浮草の繁茂の状況に応じて、適宜、全域あるいはエリア別に同様の作業を行いました。特に6月の藻が発生し始めた時点で駆除することで大量発生を防ぐことができました。
- ・掘に面して陸地等から除去が可能な藻や浮草、浮遊ゴミについては日常的に除去作業を行いました。
- ・流れ等は、コロナ禍で水の流入を止めていた為、藻や浮草、浮遊ゴミの除去等清掃は有りませんでした。
- ・日本庭園の池は落ち葉の清掃を定期的実施し、池の色が変色した際も迅速に対応査褪せました。また、水質浄化装置を設置し、テストを行っております。

⑯ 空掘清掃

- ・空濠の環境保全、美観や景観保持のため、全面、夏季及び冬季に年2回、石垣に付着する草、雑草や雑木、ゴミ等の除去を行いました。また、雑草等の繁茂状況やごみの状況に応じて、適宜、全面あるいはエリア別に同様の作業を行いました。

⑰ 石垣清掃

- ・石垣の環境保全、美観や景観保持のため、石垣の間から発生する雑木や雑草、石垣に付着する草、ゴミ等の除去作業を行いました。全体を冬季に実施しました。
- ・石垣清掃実施時には、併せて空濠、濠の水面清掃を実施しました。
- ・石垣等の清掃にあたっては、2本のロープで作業員を確保し墜落災害の防止に努めました。

⑱ 公園の魅力向上

- ・森ノ宮エリアの店舗周辺と共に芝生広場やボタニカルショーケース、せせらぎ植栽帯の維持管理を行いました。今後も公園の玄関として、また、おもてなしの空間として相応しい管理を実施していきます。
- ・JO-TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO、COOL JAPAN PARK OSAKA などの商業施設については清潔感を第一に、周辺の植栽管理を実施しました。

⑲ 課題や今後の取り組みについて年度末に枯損木、枯れ枝を集中的に切除、撤去する事で強風時等でも大きな枝が園路等に落下することなく来園者の安全を守ることが出来ました。

しかし、毎年新たに枯損木、枯れ枝は発生知る為、十分な調査に心掛け安全な公園を提供したいと考えます。

5年間評価の指摘にもあった特別園の枯れ老木化による樹勢の衰退を抑制するためにウメ、モモについては管理マニュアルをリニューアルし、手順に沿った管理を行うことで樹勢の維持を図っていきます。また、必要な経費と人員を充当するという事についても具体的にどのようなことができるのか検討していきます。サクラについては樹勢の弱っている城南エリアと西の丸庭園内で施肥及び枯枝の撤去を行いました。また、市民ボランティアに花壇の灌水や除草、花がらピ

ンチ等の手入れを行っていただき、これまで梅林だけであった市民参加による植栽ボランティアが花壇にも拡がりました。今後はさらにホームページに季節の花の開花情報を掲載する等の情報発信を行うとともに枯枝の除去などに努め、来園者が安全に楽しめるよう今後も維持管理していきます。

16. 観光拠点化の推進にかかる事業報告書

令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大による施設の閉館やイベントの中止などを受け、また、事業収入の減少を受けての経費削減に取り組んだため、予定していたプロモーション等は大幅に削減することになりました。

【1】ホームページ関連について

大阪城公園のホームページ改修に続いて、大阪城天守閣のホームページの改修作業に入りました。デザインから大幅に変更し、見やすさ、情報量の改善を目的に年度内に完成しました。また、SNSのツイッター、ノートを開始しました。

大阪城公園のホームページでは、「花の情報」に重点を置いてきましたが、「お花マップ」の改修、又ボランティア団体の「大阪梅林クラブ」と情報を共有し、梅、桜情報の即時性のアップをフェイスブック、インスタグラムの画像も連携させて改善しました。

【2】プロモーションについて

令和3年度は、現在の天守閣が竣工してちょうど90年の年にあたるため、「大阪城天守閣復興90周年」を記念した事業などを展開しました。

この周年事業でもある「赤絵を活用した集客事業」では令和3年11月6日から令和4年2月28日まで、大阪城公園、てんしば、大阪くらしの今昔館寺の3か所を結んだ「リアル宝探し」によるコロナ禍中の非接触型集客事業の運営を大阪市からの委託を受けて実施しました。宝探しだけでなく赤絵の歴史的な背景や、各拠点の楽しみ方を紹介するHPも作成し多くの人たちに参加頂きました。

また大阪城、尼崎城、岸和田城の3城で相互送客をめざす「参城めぐり」では、起請文の製作、各城2か所ずつ合計6か所を回り重ね押しするスタンプラリーの実施、3城での横浜で開催された「お城EXP02021」へ出展。関東圏を含む全国に参城をアピールした。参城めぐり町歩きマップなどを製作し、集客施策とした。

ほかの観光拠点との連携では、西宮市と石丁場と石垣つながりで、姫路城とは御城印を飾る掛軸を作り連携しました。鶴見緑地などと「景観」をテーマにしたフォトコンテストなども行い、国内での集客に努めました。

【3】ボランティア活動との連携について

週末を中心に公園の清掃を実施していただけるボランティア組織の方々と連携を図り、桜の花びらや落ち葉などの多い紅葉シーズンについては、ごみ袋を提供し花びら、落ち葉拾いにご協力いただいております。また、毎日本丸前広場にて活動しているラジオ体操関連の組織の方々とともに連携の上本丸内の清掃とその後の維持管理についてもご協力いただいております。そういった連携により、ご家族、グループ等での来園者の方々に心地のいい空間を提供できるよう維持してまいります。

【4】周辺地域との連携について

3月に、森ノ宮周辺の施設や住民の方たちとのコミュニケーションの場「もりのみやって」を立ち上げました。当社では、これまでも地元の子供達が体験出来るプログラムへの協力やスタンプラリー等をトライアルしてきました。来年度については、月に一度集まる場を作り、より地域連携が取りやすい環境を作り、周辺地域の活性化を目指します。

【5】櫓公開について

大阪観光ボランティアガイドに案内をお願いして公開していますが、コロナ感染の影響で、年度の前半は不定期の開催となりました。令和3年10月から、西の丸庭園の文化財の魅力向上と運営の効率化のため、券売所をこれまでのユニット形式から西の丸庭園改札で一本化しました。

櫓公開データ

2021年度 期間 2021年6月～2022年3月まで

(新型コロナのために4～6月お休み) 公開日数 54日

入場者数 7,254人

参考

2020年度 4,964人 新型コロナ

2019年度 84,227人

2018年度 105,435人 大阪北部地震 西日本豪雨 台風21号

2017年度 128,891人

2016年度 103,367人

【6】イベントの実施

大阪城公園の魅力向上のための賑わいづくり事業として各種イベント計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施はごく一部となりました。

- ・大阪城内堀：大阪城御座船（4/1～3/31、貸切除く、緊急事態宣言時休業日有）

利用者：14,761人

- ・西の丸庭園：櫓特別公開2021（6/26～11/30、土日祝のみ、緊急事態宣言時休業日有）

利用者：7,204人

- ・西の丸庭園 他：

大阪城謎解きゲーム第7弾 明智光秀の危機（4/9～7/18、緊急事態宣言時休業日有）

集客数：84人

- ・西の丸庭園：大阪城イルミネーション：今期はなし。来年度開催予定。

【ケータリングカー・露店営業】

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（4/1～7）
- ・森ノ宮口：お散歩グルメ茶屋（8/1～9/17）
- ・森ノ宮口：森のグルメ茶屋（10/17～11/29）
- ・森ノ宮口：冬のグルメ茶屋（12/5～1/24）
- ・森ノ宮口：春のグルメ茶屋（2/11～3/31）
- ・城南、青屋門、東外濠、大阪城ホール前：露店営業（4/1～）